

2023 年度 事業報告書

(2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで)

学校法人 中内学園

一	学校法人の概要
---	---------

①建学理念及び教育の特色

【建学理念】

流通を科学的に研究教育することを通じて、世界の平和に貢献し、真に豊かな社会の実現に貢献できる人材を育成する。

【教育の特色】

「流通・マーケティング」を研究し、学ぶということが全学的に共通した教育の大前提であり、学部・学科・コースとも、それぞれの教育特性を活かした切り口で「流通・マーケティング」を学び、さらに常に動態化している第三次産業の市場や生活者の変化に適応でき、使える学問としての「実学」で学ぶことが本学の教育の特色である。また、2015 年度、大幅なカリキュラムの改訂を行い、入学直後の半年間を自分の将来の目標を見つけるための期間とする気づきの教育（本学独自の初年次教育）を導入。2019 年度のカリキュラム改訂については、「考える学習型授業」を通じた論理的思考力等の汎用的能力の育成、及び社会人としての基礎的能力の確実な修得を目指した授業改革を推進するための基盤を築くことに重点をおき実施した。

【将来に向けてのビジョン】

大学を取り巻く外部環境・内部環境の想定を超える変化の早さに対応し、本学が勝ち残るための中内学園中長期計画(N-PLAN)を、2010 年度からの中長期計画である「RYUKA プラン 21」において実施中の内容を包含した上で、第一次計画(2012～2014 年度)を策定・実施。その後、第二次計画・第三次計画を策定・実施。2019 年度に、第三次計画をベースに、教育改革を中心とした第四次計画(2020～2024 年度)を策定。“流通科学大学オンリーワン・ナンバーワンの教育力構築”を推進する。

②沿革

1979(昭和 54)年	5 月	中内功、流通関係の大学設立構想発表
1984(昭和 59)年	3 月	流通科学大学(仮称)設立事業計画策定
1985(昭和 60)年	6 月	流通科学大学設立準備財団設立発起人総会 中内功を設立代表者に選任
1986(昭和 61)年	1 月	「財団法人 流通科学大学設立準備財団」認可・登記
1987(昭和 62)年	12 月	学校法人中内学園 寄附行為認可及び流通科学大学認可
1988(昭和 63)年	1 月	学校法人中内学園設立登記
1988(昭和 63)年	4 月	流通科学大学 商学部(流通学科／経営学科)開設
1991(平成 3)年	12 月	寄附行為変更認可及び情報学部設置認可
1992(平成 4)年	4 月	情報学部(経済情報学科／経営情報学科)開設
1993(平成 5)年	12 月	寄附行為変更認可及び商学部(ファイナンス学科／サービス産業学科)設置認可
1994(平成 6)年	4 月	商学部(ファイナンス学科／サービス産業学科)開設
1995(平成 7)年	12 月	寄附行為変更認可及び大学院(流通科学研究科)設置認可
1996(平成 8)年	4 月	大学院(流通科学研究科 修士課程)開設
1997(平成 9)年	9 月	中内記念館(10 周年記念事業)竣工
1997(平成 9)年	12 月	大学院(流通科学研究科 博士後期課程)設置認可
1998(平成 10)年	4 月	大学院(流通科学研究科 博士後期課程)開設
2001(平成 13)年	4 月	サービス産業学部(観光・生活文化事業学科／医療福祉サービス学科)開設
2005(平成 17)年	3 月	商学部サービス産業学科廃止
2006(平成 18)年	4 月	アスレチック棟(20 周年記念事業)竣工
2006(平成 18)年	9 月	中内功記念館開設(中内記念館を改装)
2006(平成 18)年	9 月	流通資料館開設
2007(平成 19)年	7 月	講義棟 6(20 周年記念事業)竣工
2008(平成 20)年	8 月	第二クラブハウス竣工
2009(平成 21)年	10 月	流通科学大学野球場竣工
2010(平成 22)年	4 月	校歌「神戸の風は」完成
2010(平成 22)年	6 月	中内功記念館リニューアル
2011(平成 23)年	4 月	商学部(商学科)開設
		※商学部 流通学科、経営学科、ファイナンス学科を改組

		総合政策学部(総合政策学科)開設 ※情報学部 経済情報学科、経営情報学科を改組 サービス産業学部(観光学科、サービスマネジメント学科)開設 ※サービス産業学部 観光・生活文化事業学科、医療福祉サービス学科を改組 リテール科学研究所設立
2011(平成 23)年	9 月	キャッシュレジスター博物館開設
2012(平成 24)年	2 月	第三クラブハウス竣工
2015(平成 27)年	4 月	商学部(経営学科／マーケティング学科)開設 ※商学部 商学科を改組 経済学部(経済学科／経済情報学科)開設 ※総合政策学部 総合政策学科を改組 人間社会学部(人間社会学科／観光学科／人間健康学科)開設 ※サービス産業学部 観光学科、サービスマネジメント学科を改組
2015(平成 27)年	9 月	流通資料館改め、ダイエー資料館開設
2016(平成 28)年	3 月	商学部流通学科及びファイナンス学科廃止
2016(平成 28)年	9 月	附属図書館リニューアル
2017(平成 29)年	5 月	情報学部経済情報学科廃止
2018(平成 30)年	2 月	国際交流施設学生寮竣工
2018(平成 30)年	3 月	商学部経営学科廃止 サービス産業学部観光・生活文化事業学科及び医療福祉サービス学科廃止
2018(平成 30)年	10 月	情報学部及び情報学部経営情報学科廃止
2021(令和 3)年	3 月	商学部商学科、総合政策学部総合政策学科、サービス産業学部観光学科及びサービスマネジメント学科廃止
2022(令和 4)年	8 月	中内功生誕 100 年記念事業

③設置学校等

理事長 中内潤

流通科学大学

所在地:神戸市西区学園西町 3-1

学 長:藤井 啓吾

流通科学大学大学院

所在地:神戸市西区学園西町 3-1

学 長:藤井 啓吾

④役員及び教職員に関する情報役員及び教職員に関する情報

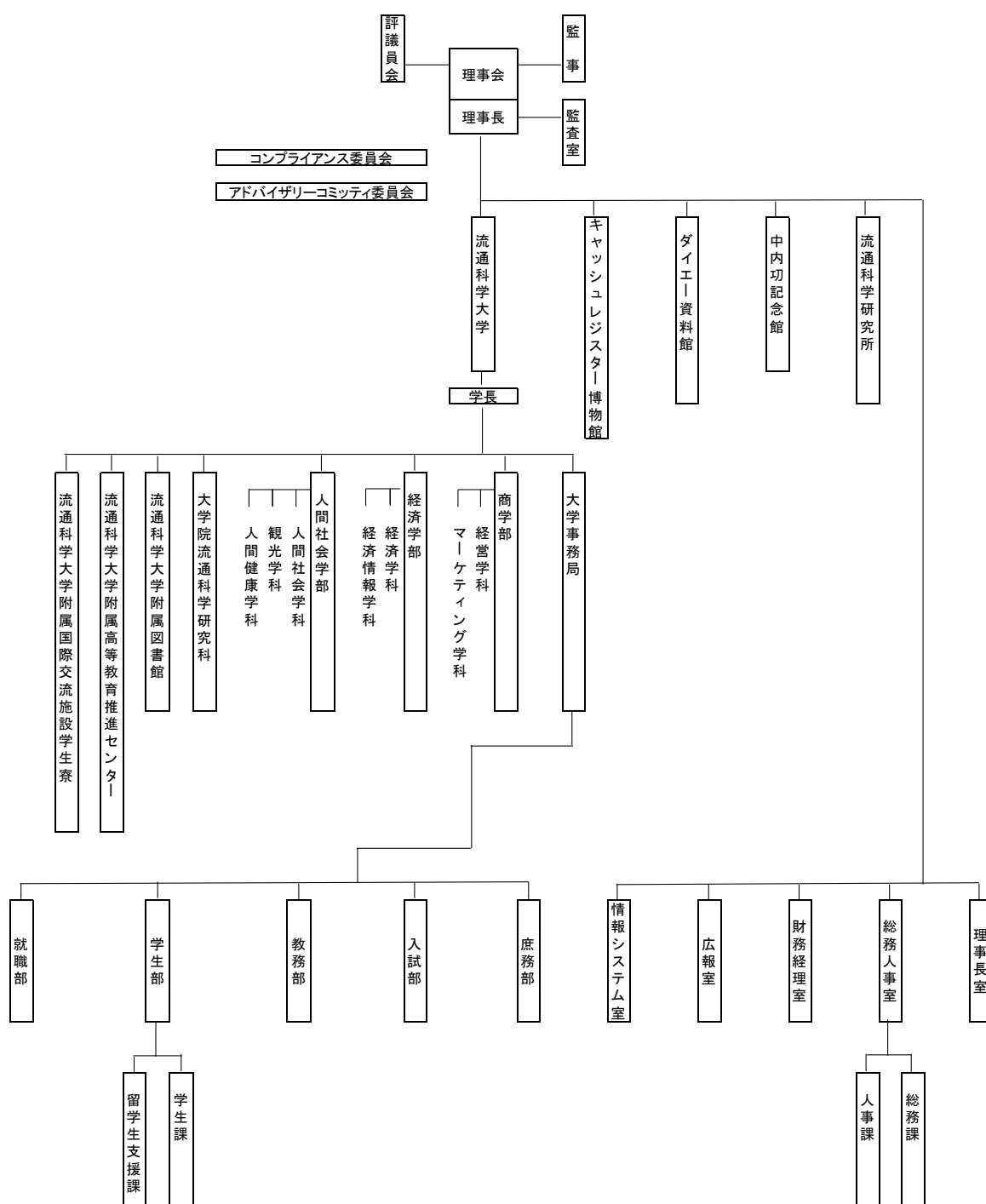
(2023.5.1 現在)

理事	6 名	(うち学内理事)	2 名	(うち学外理事)	4 名	(定員数)	5 名以上 10 名以内		
監事	3 名	(定員数)	2 名以上 4 名以内						
評議員	15 名	(定員数)	11 名以上 21 名以内						
教員	106 名	(うち教授)	52 名	(うち准教授)	36 名	(うち講師)	18 名	(うち兼務)	35 名
		平均年齢(教授)	58 歳	平均年齢(准教授)	48 歳	平均年齢(講師)	42 歳		
職員	152 名	(うち正職員)	62 名						
		平均年齢(正職員)	40 歳						

理事、監事、評議員(2023 年 4 月 1 日現在)

		所属	役職	氏名	就任年月日	常勤・非常勤
理事	1	株式会社美十	代表取締役社長 CEO	酒井 宏彰	2023 年 4 月 1 日	非常勤
	2	特定非営利活動法人 ジャパン・フィルムコミッション	顧問	田中 まこ	2023 年 4 月 1 日	非常勤
	3	学校法人中内学園	理事長	中内 潤	2023 年 4 月 1 日	常勤
	4	学校法人中内学園	学園長	中内 希	2020 年 4 月 1 日	非常勤
	5	流通科学大学	学長	藤井 啓吾	2020 年 4 月 1 日	常勤
	6	一般社団法人 全国スーパーマーケット協会	会長	横山 清	2023 年 4 月 1 日	非常勤
監事	1	多聞法律事務所	弁護士	田中 久雄	2023 年 4 月 1 日	非常勤
	2	学校法人中内学園	監事	山本 隆俊	2023 年 4 月 1 日	非常勤
	3	中央興産株式会社	代表取締役	尤 昭福	2023 年 4 月 1 日	非常勤
評議員	1	有朋会(流通科学大学同窓会)	副会長	茨木 耕司	2014 年 4 月 1 日	
	2	株式会社 Cheerful.	代表取締役	岩佐 美千子	2022 年 4 月 1 日	
	3	株式会社エムズブランディング	代表取締役社長	鶴殿 麻里絵	2023 年 4 月 1 日	
	4	有朋会(流通科学大学同窓会)	会長	岡本 一展	2015 年 11 月 1 日	
	5	ゆう税理士事務所	代表・税理士	小林 優子	2020 年 4 月 1 日	
	6	株式会社美十	代表取締役社長 CEO	酒井 宏彰	2023 年 4 月 1 日	
	7	流通科学大学	商学部教授	清水 信年	2018 年 4 月 1 日	
	8	株式会社みなと銀行	代表取締役社長	武市 寿一	2021 年 6 月 1 日	
	9	株式会社淡路屋	代表取締役社長	寺本 督	2020 年 4 月 1 日	
	10	株式会社インターウィズダム	代表取締役	中間 徳子	2023 年 4 月 1 日	
	11	株式会社神戸クルーザー	会長	南部 真知子	2020 年 4 月 1 日	
	12	流通科学大学	商学部教授	福田 司文	2010 年 4 月 1 日	
	13	六甲バター株式会社	代表取締役会長	三宅 宏和	2023 年 4 月 1 日	
	14	株式会社中新ビル	代表取締役社長	門 日勲	2014 年 4 月 1 日	
	15	播州信用金庫	理事長	和田 長平	2005 年 4 月 1 日	

⑤学校法人の組織図(2023.4)



⑥法人が関連する会社

- 1.会社名 流科サービス株式会社
- 2.事業内容 学内のコンビニエンスストア経営、教職員及び学生用パソコン・システムサポート、自動販売機の管理、袴レンタル 等
- 3.決算状況 総資産 33,136 千円、純資産 26,884 千円、資本金 10,000 千円(中内学園 100%出資)
売上高 53,272 千円、営業利益 5,959 千円、経常利益 6,372 千円(2023 年度)
なお、コンビニエンスストアはFC 契約に基づく店利益を、売上高に算入。
- 4.従業員数等 取締役 2 名、従業員 27 名(内訳:正社員 3 名、嘱託社員 1 名、ローソククルー及びアルバイト 23 名)

二	事業の概要
---	-------

(1) 中長期計画および 2023 年度事業計画の進捗・達成状況

<「中内学園中長期計画（第四次）2020～2024 年度」の達成状況>

1. 教学（教育改革）

・教育内容の質的向上

⇒留学生入試をはじめ入試区分に対応した教育プログラムの策定・実施について、2024 年度より留学生就職促進プログラム（アジアビジネス人材育成プログラム）実施決定。

⇒「考える学習型」授業推進方法について、教員が求める情報として、高等教育推進センター委員から各授業で工夫している点を発表し GW 実施。2024 年度 FD での教員の意見を参考に、引き続き検討を進める。

⇒新学部・学科検討プロジェクトからの最終答申が承認され、経営学科にフードビジネスコース、経済情報学科にデータサイエンスコースの導入が決定。

・夢の種プロジェクトの進化

⇒2024 年度に向けた新プログラムの構築について、初年次 WG を立ち上げ、2025 年度導入予定プログラムを一部前倒しで実施済。

⇒「学び」の質保証プロジェクト演習系科目改善検討チームからの最終答申が承認され、4 年間の一貫した演習科目体系の導入が決定。

・退学・除籍者数減 2023 年度目標 4.2%（退学・除籍者数 170 名以下）

⇒退学除籍率 3.9%、退学・除籍者数 147 名（2022 年度 3.6%・140 名）

・修士課程ならびに博士後期課程における定員充足率の向上

⇒修士課程 48 名（定員充足率 120%）

⇒博士後期課程 5 名（定員充足率 33.3%）

2. 教学（大学戦略）

・全学的なマーケティングの浸透に向けて

社会共創プログラムに参画する専任教員数：22 名 参加率：20.6%（2022 年度 32 名）

・高大連携の深化

⇒RYUKA スピーチ朗読コンテスト（対面）、高校生 9 校 57 名 日本語学校生 4 校 17 名（前年度 68 名）

⇒高校（日本語学校）大学連携プログラム 13 件（高校 12 件、日本語学校 1 件）

3. 教学（内部質保証システムの推進）

・教学・人事・施設・財務の重点項目を実施、「中内学園中長期計画（第四次）2020～2024 年度」の大目標を達成することに寄与する内部質保証システムを再構築する

- ・内部質保証の推進に責任を負う組織を整備し、大学全体として整合性のとれた内部質保証体制を構築する

⇒2023 年度自己点検を実施し、それに伴い大学基礎データなど各種のデータ収集の取りまとめを実施。

4. 人事

- ・教育力を最大に伸ばすための評価制度構築・実施

⇒教員表彰制度「中内賞」 2023 年度グループ表彰 1 グループ、個人表彰 9 名

- ・中期推移による教職員数動向を把握した採用計画実施

＜教員採用＞

⇒2024 年度の教員数は 106 名。

＜職員採用＞

⇒新卒採用者 2 名、中途採用者 5 名入職

- ・職員のキャリアディベロップメント構築と実施

⇒新人事制度について、2022 年 4 月に運用を開始。2025 年 3 月にて経過措置期間が終了する為、2025 年 4 月からの本格運用を目指し、改善点・疑問点等の対応を進める。

5. 施設

- ・単年度事業計画・予算に基づく施設設備メンテナンス
- ・単年度事業計画・予算に基づくシステムの安定運用およびリプレイス
(施設)

⇒教育の質向上のための施設・インフラ整備について、計画に基づき全て完了。

- ・野球場人工芝更新
- ・RYUKA HALL 照明設備更新・LED 化
- ・RYUKA DINING 壁面改修
- ・講義棟 V 空調更新 (5 期)
- ・空調機中央監視盤更新

(システム)

⇒大学 HP、Workflow、Wpad、DNS サーバ、QR コードシステムの構築を完了

⇒無線アクセスポイントリプレイスの実施

6. 財務

※百万円未満四捨五入

- ・単年度キャッシュフロー、プラスの継続および事業活動収支の均衡を達成するための経費コントロールの実施
- ・人件費比率（人件費／経常収入）46.3%（目標値 44.0%）（前年度 44.2%）
- ・教育研究経費比率（教育研究経費／経常収入）44.8%（目標値 43.0%）（前年度 45.2%）
- ・管理経費比率（管理経費／経常収入）11.6%（目標値 10.0%）（前年度 10.3%）
- ・経常収支差額比率（経常収支差額／経常収入）▲2.7%（目標値±0.0%）（前年度 0.2%）

2023 年度単年度のキャッシュフローは 22,718,508 円（前年度 512,548,145 円）（前年度比 4.4%）。経常収支差額は▲126,797,890 円（前年度 8,325,852 円）

・新たな収入源確保

- ・寄付金収入 93,908,000 円（2022 年度 131,475,000 円）（前年度比 71.4%）
- ・補助金収入 571,924,846 円（2022 年度 581,634,386 円）（前年度比 98.3%）
- ・資金運用収入 25,360,900 円（2022 年度 30,990,948 円）（前年度比 77.3%）

<2023 年度事業計画 達成状況>

※2023 年度事業は、「中内学園中長期計画（2020～2024 年度）」の重点項目に基づく、単年度の事業計画であり、奨学金に頼らない磐石な学生募集力とオンリーワン・ナンバーワンの教育力構築を実現するためのものです。

<2023 年度事業計画の大目標>

【大学部門】 学生満足度の向上 学生満足度調査結果に基づく 3 つの指標（学生生活・教学・就職）

「学長室」内部質保証高度化推進、IR 体制の整備と教育体制の質的改善

⇒2023 年度自己点検を実施し、それに伴い大学基礎データなど各種のデータ収集の取りまとめを実施。

「入試」入学者数 900 名の必達、入試戦略の再構築

⇒2024 年度入学者数：860 名（前年度：833 名）

「教務」夢の種プロジェクトの進化、気づきの教育の再構築、新コース・カリキュラム再編成

⇒留学生入試をはじめ入試区分に対応した教育プログラムの策定・実施について、2024 年度より留学生就職促進プログラム（アジアビジネス人材育成プログラム）実施決定。

⇒「学び」の質保証プロジェクト演習系科目改善検討チームからの最終答申が承認され、4 年間の一貫した演習科目体系の導入が決定。

⇒新学部・学科検討プロジェクトからの最終答申が承認され、経営学科にフードビジネスコース、経済情報学科にデータサイエンスコースの導入が決定。

⇒社会共創プログラム参画教員数：22 名 参加率：20.6%

「学生」退学・除籍率減 4.3%→4.2% 中退予防に向けた学生の傾向把握と早期取り組みの実現と留学生対策

（全体）

⇒退学除籍率 3.9%、退学・除籍者数 147 名（2022 年度 3.6%・140 名）

（留学生）

⇒退学除籍率 3.1%（27 名/864 名中）（前年度 28 名/795 名中 1 名減 中退率 3.5%）

「就職」進路決定率の向上 86.7%→88.0% 個別サポートの強化（留学生、中四国地方企業とのネットワーク）

【進路決定率】

⇒日本人学生進路決定率※：88.4%

※（就職者数+大学院進学者+就職及び大学院進学者以外で 夢に向かって活動する者）÷卒業者数×100

⇒留学生進路決定率※：95.1%

※就職者（母国での就職内定者含む）÷就職希望者数×100

【就職率】

⇒就職率※：98.3% （日本人学生：98.8%、留学生：95.1%）

※就職者数÷就職希望者数×100

（中四国地方企業とのネットワーク）

⇒兵庫県・大阪府企業との情報交換数のべ353社、うち企業訪問数のべ21社。

⇒中四国地方企業との年間接触数のべ69社。

【法人部門】 私立学校法改正に伴う寄附行為の変更と規則規程の見直し

「人事」新人事制度の定着、働き方改革法への対応、中期推移による採用計画の実施、大学設置基準改正に伴う基幹教員の考え方導入

⇒1年間における総労働時間一人当たりの平均について、2022年度は122,709分に対し、2023年度は120,761分。（前年度比▲1.58%）

「財務」中長期目標である経常収支均衡化達成に向けた業務見直し（スクラップ&ビルド）、単年度キャッシュフロープラス

⇒・人件費比率（人件費／経常収入）46.3%（目標値44.0%）（前年度44.2%）

・教育研究経費比率（教育研究経費／経常収入）44.8%（目標値43.0%）（前年度45.2%）

・管理経費比率（管理経費／経常収入）11.6%（目標値10.0%）（前年度10.3%）

・経常収支差額比率（経常収支差額／経常収入）▲2.7%（目標値±0.0%）（前年度0.2%）

2023年度単年度のキャッシュフローは22,718,508円（前年度512,548,145円）（前年度比4.4%）。経常収支差額は▲126,797,890円（前年度8,325,852円）。

「広報」広報戦略の再構築、入試戦略再構築サポート、社会貢献活動推進サポート

⇒社会共創活動や初年次教育など本学の教育を切り口とし、学生と教員にフォーカスした動画を9本制作

「総務・システム・施設」施設保全5か年計画の推進、システム整備5か年計画の推進（施設）

⇒教育の質向上のための施設・インフラ整備について、計画に基づき全て完了。

(システム)

⇒大学 HP、Workflow、Wpad、DNS サーバ、QR コードシステムの構築を完了

⇒無線アクセスポイントリプレイスの実施

「理事長室」新理事・評議員体制の定着、事業計画の進捗管理

⇒新理事・評議員体制の定着 評議員会において新任の評議員が 4 名就任。私学法改正に伴い、寄附行為改正が必要となることから、理事会、評議員会にて随時情報共有し、円滑な運営を行った。

(2) 教育研究の概要

①「卒業認定・学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」「入学者受け入れ方針」(2023.5 月現在)

流通科学大学

「卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)」

<https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-diploma-policy>

<https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-diploma-policy2021>

「教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)」

<https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-curriculum-policy>

<https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-curriculum-policy2021>

「入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)」

<https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-admission-policy>

流通科学大学大学院

「卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)」

<https://www.umds.ac.jp/academics/graduate-school/g-diploma-policy/>

「教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)」

<https://www.umds.ac.jp/academics/graduate-school/g-curriculum-policy/>

「入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)」

<https://www.umds.ac.jp/academics/graduate-school/g-admission-policy/>

②教育研究上の基本となる組織に関する情報 (2023. 5. 1 現在)

学部	学科	コース
商学部	経営学科	経営戦略コース
		起業・事業承継コース ※2021 年度より
		グローバル経営コース ※2019 年度より
		ビジネスリーダーコース ※2019 年度より
		会計コース
	マーケティング学科	ブランド戦略コース ※2019 年度より
		流通ビジネスコース ※2019 年度より
経済学部	経済学科	現代経済コース
		地域まちづくりコース
	経済情報学科	経済情報コース
		情報システムコース
人間社会学部	人間社会学科	社会文化コース ※2019 年度より
		心理コース
	観光学科	観光事業コース
		ホテル・ブライダルコース
	人間健康学科	スポーツマネジメントコース ※2019 年度より
		スポーツ健康コース

研究科	課程
流通科学研究科	流通科学専攻(修士課程)(博士後期課程)

③教員組織及び教員数並びに教員の保有学位、業績に関する情報(2023.5.1 現在)

流通科学大学

学部	学科	教員数	うち 教授数	うち 准教授数	うち 講師数	うち 博士学位 取得者数	うち 修士学位 取得者数	うち 産業界 出身者数
商学部	経営学科	24	13	8	3	14	9	9
	マーケティング学科	23	9	6	8	14	9	5
経済学部	経済学科	17	10	7	0	10	6	5
	経済情報学科	9	5	2	2	7	2	2
人間社会学部	人間社会学科	13	7	4	2	8	5	5
	観光学科	9	4	5	0	2	6	3
	人間健康学科	11	4	4	3	5	6	2

流通科学大学大学院

研究科	教員数	うち 教授数	うち 准教授数	うち 講師数
流通科学研究科	31	26	5	0

※流通科学研究科教員については、大学と兼担

④学生に関する情報

<入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)>

<https://www.umds.ac.jp/academics/university-policy/u-admission-policy>

<2023 年度 入学生数>

流通科学大学

学部	募集定員	入学者数
商学部	450 名	379 名
経済学部	200 名	191 名
人間社会学部	250 名	263 名
学部計	900 名	833 名

流通科学大学大学院

研究科	課程	募集定員	入学者数
流通科学研究科	修士課程	20 名	23 名
	博士後期課程	5 名	3 名
大学院計		25 名	26 名

総合計	925 名	859 名
-----	-------	-------

<学部及び収容定員・学生数の状況(2023.5.1 現在)>

流通科学大学

学部	収容定員	学生数
商学部	1,800 名	1,817 名
経済学部	800 名	860 名
人間社会学部	1,000 名	1,053 名
学部計	3,600 名	3,730 名

流通科学大学大学院

研究科	課程	収容定員	学生数
流通科学研究科	修士課程	40 名	41 名
	博士後期課程	15 名	5 名
大学院計		55 名	46 名

< 学生数－内訳 (2023.5.1 現在) >

流通科学大学

区 分		1 学年			2 学年			3 学年			4 学年						合 計		
		男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	うち 留年	女子	うち 留年	合計	うち 留年	男子	女子	合計
商学部	経営学科	185	59	244	199	52	251	194	71	265	237	40	48	2	285	42	815	230	1045
	マーケティング学科	77	58	135	138	47	185	139	63	202	173	24	77	4	250	28	527	245	772
	学部計	262	117	379	337	99	436	333	134	467	410	64	125	6	535	70	1342	475	1817
経済学部	経済学科	114	16	130	129	19	148	138	15	153	157	29	21	1	178	30	538	71	609
	経済情報学科	53	8	61	59	12	71	54	7	61	54	9	4		58	9	220	31	251
	学部計	167	24	191	188	31	219	192	22	214	211	38	25	1	236	39	758	102	860
人間社会学部	人間社会学科	64	37	101	46	33	79	66	48	114	77	13	29	3	106	16	253	147	400
	観光学科	21	41	62	19	43	62	18	47	65	32	11	53	6	85	17	90	184	274
	人間健康学科	87	13	100	72	16	88	78	8	86	94	11	11	2	105	13	331	48	379
	学部計	172	91	263	137	92	229	162	103	265	203	35	93	11	296	46	674	379	1053
全学部計		601	232	833	662	222	884	687	259	946	824	137	243	18	1067	155	2774	956	3730

流通科学大学大学院

区 分		1 学年			2 学年			3 学年			4 学年						合 計		
		男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	うち 留年	女子	うち 留年	合計	うち 留年	男子	女子	合計
流通科学研究科	修士課程	14	9	23	9	9	18										23	18	41
	博士後期課程	2	1	3				2		2							4	1	5
大学院計		16	10	26	9	9	18	2		2							27	19	46

総合計	617	242	859	671	231	902	689	259	948	824	137	243	18	1067	155	2801	975	3776
------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-----------	-------------	------------	-------------	------------	-------------

< 卒業生数・就職者数・進学者数 >

流通科学大学

学部	学科	2023 年度 卒業生数	卒業生数 累計	2023 年度 就職者数	2023 年度 進学者数
商学部	流通学科	－	5,046	－	－
	経営学科(旧)	－	4,265	－	－
	ファイナンス学科	－	1,619	－	－
	サービス産業学科	－	815	－	－
	商学科	－	1,244	－	－
	経営学科	222(13)	1,249	164(4)	6(0)
	マーケティング学科	209(9)	910	150(2)	8(0)
	計	431(22)	15,148	314(6)	14(0)
経済学部	経済学科	139(10)	772	115(5)	0(0)
	経済情報学科	47(1)	269	38(0)	1(0)
	計	186(11)	1,041	153(5)	1(0)
人間社会学部	人間社会学科	83(4)	499	64(1)	1(0)
	観光学科	75(7)	366	59(2)	0(0)
	人間健康学科	85(4)	507	74(2)	0(0)
	計	243(15)	1,372	197(5)	1(0)
情報学部	経済情報学科	－	2,663	－	－
	経営情報学科	－	2,882	－	－
	計	－	5,545	－	－
総合政策学部	総合政策学科	－	522	－	－
	計	－	522	－	－
サービス産業学部	観光・生活文化事業学科	－	1,257	－	－
	医療福祉サービス学科	－	1,138	－	－
	観光学科	－	213	－	－
	サービスマネジメント学科	－	506	－	－
	計	－	3,114	－	－
学部計		860(48)	26,742	664(16)	16(0)

※2023 年度卒業生数のうち、()の数字は9月卒業者数

流通科学大学大学院

学位	修士課程				博士課程			
	2023 年度 卒業生数	卒業生数 累計	2023 年度 就職者数	2023 年度 進学者数	2023 年度 卒業生数	卒業生数 累計	2023 年度 就職者数	2023 年度 進学者数
流通科学	13(1)	372	5(0)	0(0)	0(0)	17	0(0)	0(0)

※2023 年度卒業生数のうち、()の数字は9月卒業者数

2023 年度 主な就職先 ※業種・分野毎五十音順

建設・不動産	住友不動産販売(株)		小売	<アパレル>		運輸・物流	<旅客運輸(航空・鉄道等)>	
	ダイキンエアテクノ(株)			(株)アーバンリサーチ			ANA大阪空港(株)	
	大東建託パートナーズ(株)			(株)アダストリア	東証プライム		ANA関西空港(株)	
	東建コーポレーション(株)	東証プライム		(株)エービーシー・マート	東証プライム		国際航空旅客サービス(株)	
	日鉄テックスエンジ(株)			(株)F・O・インターナショナル			西日本旅客鉄道(株)	東証プライム
製造	明石機械工業(株)		(株)ユナイテッドアローズ	東証プライム	<自動車・バイク販売>		両備ホールディングス(株)	
	(株)伊藤園	東証プライム	トヨタカローラ姫路(株)		ネットトヨタゾナ神戸(株)		<物流>	
	グローリー(株)	東証プライム	ネットトヨタ兵庫(株)		兵庫ダイハツ販売(株)		イオングローバルSCM(株)	
	(株)神戸製鋼所	東証プライム	兵庫トヨタ自動車(株)		兵庫日産自動車(株)		(株)上組	東証プライム
	大建工業(株)		(株)ホンダ四輪販売山陽		(株)ヤナセ		佐川急便(株)	
	ダイネン(株)		<その他小売>		アイ・ケイ・ケイホールディングス(株)	東証プライム	山九(株)	東証プライム
	(株)千代田精機		アサヒ飲料販売(株)		(株)カトープレジャーグループ		センコー(株)	
	バンドー化学(株)	東証プライム	(株)アルペン	東証プライム	(株)ティクアンドギヴ・ニーズ	東証プライム	日本通運(株)	
	フジッコ(株)	東証プライム	(株)カインズ		東急リゾーツ&ステイ(株)		日本郵便(株)	
	山崎製パン(株)	東証プライム	コーナン商事(株)	東証プライム	(株)星野リゾート		山村ロジスティクス(株)	
(株)ロック・フィールド	東証プライム	(株)コスモス薬品	東証プライム	(株)ホテルオークラ神戸		(株)ロジネットジャパン西日本		
六甲バター(株)	東証プライム	(株)サンドラッグ	東証プライム	ホテル日航姫路		アイ・ケイ・ケイホールディングス(株)	東証プライム	
卸売	伊丹産業(株)		(株)G-7・オート・サービス		リゾートトラスト(株)	東証プライム	(株)カトープレジャーグループ	
	(株)大塚商会	東証プライム	DAIWA CYCLE(株)	東証グロース			(株)ティクアンドギヴ・ニーズ	東証プライム
	加藤産業(株)	東証プライム	(株)東海近畿クボタ				東急リゾーツ&ステイ(株)	
	国分西日本(株)		(株)ニトリホールディングス	東証プライム			(株)星野リゾート	
	(株)シマブンコーポレーション		(株)ユニマツライフ				(株)ホテルオークラ神戸	
	(株)スミノエ		(株)良品計画	東証プライム			ホテル日航姫路	
	ダイワボウ情報システム(株)		<銀行>				リゾートトラスト(株)	東証プライム
	(株)トーヨー	東証プライム	(株)阿波銀行	東証プライム	サービスその他	セントラルスポーツ(株)	東証プライム	
	トヨタモビリティパーツ(株)		(株)四国銀行	東証プライム		大栄環境(株)	東証プライム	
	(株)日本アクセス		(株)みなと銀行			ディップ(株)	東証プライム	
ハリマ共和物産(株)	東証スタンダード	<信用金庫・農協など>		(株)ネスタリゾート神戸				
藤原産業(株)		淡路信用金庫		(株)ベネフィット・ワン		東証プライム		
ホシザキ阪神(株)		イオンフィナンシャルサービス(株)	東証プライム	(株)マイナビワークス				
情報・通信	アルファテクノロジー(株)		香川県信用組合			マンパワーグループ(株)		
	(株)ヴィンクス		神戸信用金庫			(合同)ユー・エス・ジェイ		
	(株)シー・エス・イー		鳥取西部農業協同組合			LEGOLAND Japan(合同)		
	(株)ソフトウェア・サービス	東証スタンダード	日新信用金庫			(株)ワールド・ワン		
	トランスコスモス(株)	東証プライム	晴れの国岡山農業協同組合		<市役所(役場)>			
	富士ソフト(株)	東証プライム	播州信用金庫		神戸市役所			
小売	(株)ミックウェア		姫路信用金庫		丹波篠山市役所			
	<スーパー>		兵庫県厚生農業協同組合連合会		鳥取市役所			
	イオンリテール(株)		兵庫県信用組合		松山市役所			
	イズミヤ・阪急オアシス(株)		兵庫信用金庫		牟岐町役場(岡山県)			
	(株)コノミヤ		兵庫西農業協同組合		<警察>			
	(株)さとう		兵庫六甲農業協同組合		愛媛県警察本部			
	(株)フジ	東証プライム			大阪府警察本部			
	マックスバリュ関東(株)				岡山県警察本部			
	(株)マルアイ				兵庫県警察本部			
	(株)マルハチ				<公務員>			
(株)万代				防衛省自衛隊				

⑤教育課程に関する情報

＜授業科目及び単位数＞

※大学ホームページにて公開(PDF ファイルのダウンロード可)

＜シラバス(講義概要)＞

※大学ホームページにて公開

⑥学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準に関する情報

流通科学大学

学部	学科	修業 年限	必要修得 単位数	取得可能な 学位及び専攻名称
商学部	経営学科	4 年	124	学士(経営学)
	マーケティング学科		124	学士(マーケティング学)
経済学部	経済学科		124	学士(経済学)
	経済情報学科		124	学士(経済情報学)
人間社会学部	人間社会学科		124	学士(人間社会学)
	観光学科		124	学士(観光学)
	人間健康学科		124	学士(人間健康学)

流通科学大学大学院

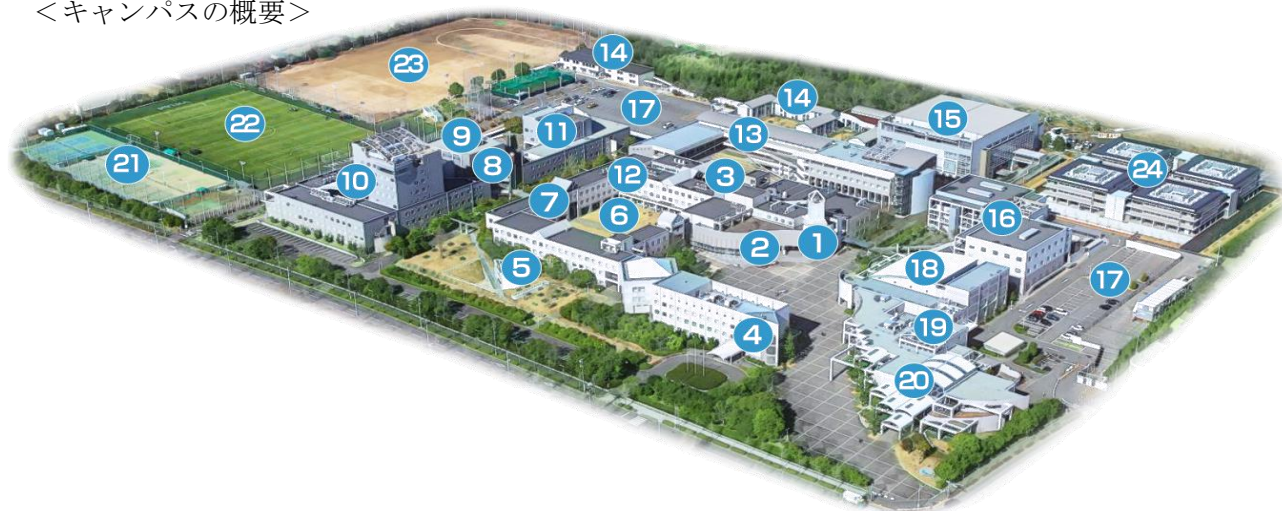
研究科	課程	修業 年限	必要修得 単位数	取得可能な 学位及び専攻名称
流通科学研究科	修士課程	2 年	30	修士(流通科学)
	博士後期課程	3 年	12	博士(流通科学)

⑦学習環境に関する情報

流通科学大学・流通科学大学院

キャンパス	学部・研究科	所在地	主な交通手段
流通科学大学キャンパス	商学部	神戸市西区学園西町 3-1	神戸市営地下鉄 西神山手線「学園都 市駅」 下車北へ徒歩 5 分
	経済学部		
	人間社会学部		
	流通科学研究科		

<キャンパスの概要>



- | | | |
|----------------|------------------------|-------------------------|
| 1. ベルタワー | 9. ダイエー資料館 | 17. 学生専用駐車場 |
| 2. 附属図書館 | 10. 講義棟 2、研究棟 2 | 18. RYUKA HALL |
| 3. メディアセンター | 11. 講義棟 3、研究棟 3 | 19. ローソン流科大実習店 |
| 4. 本部棟(事務局・受付) | 12. 保健室 | 20. RYUKA DINING(レストラン) |
| 5. 中内功記念館 | 13. 講義棟 5、研究棟 5 | 21. テニスコート |
| 6. 中庭 | 14. クラブハウス | 22. 人工芝グラウンド |
| 7. 講義棟 1、研究棟 1 | 15. アスレチック棟 | 23. 西グラウンド |
| 8. 大学院 | 16. 講義棟 6(教務部・就職部・学生部) | 24. 国際交流施設学生寮 |



ベルタワー (1)



中内功記念館 (5)



中庭 (6)



アスレチック棟 (15)



講義棟 6 (16)



RYUKA DINING(レストラン) (20)

＜運動施設の概要＞

・アスレチック棟

スポーツの振興を通じて課外活動の活性化及び地域交流の推進を目指し、本学 20 周年記念事業の一環として建設し、2006 年 4 月に竣工。



・流通科学大学野球場

両翼 100 メートル、中堅 122 メートル、外野に人工芝を配した野球場で、主に硬式野球部、軟式野球部などの活動に利用。



・グラウンド

人工芝グラウンドと西グラウンドの 2 面あり、授業および体育系を中心とした課外活動団体が利用。



＜課外活動の状況＞

課外活動の目的:課外活動を通して、自主性・協調性・リーダーシップを学び取り、また生涯続く友人関係のネットワークを築き上げるとともに、体力・技術・メンタルを鍛える。

クラブ・サークル加盟団体:4の独立団体と31の体育会系クラブと13の文化会系クラブ、また5の体育会系、9の文化会系サークルもあり、約 2,270 名(昨年約 1,900 名)の在学生在が何らかの課外活動団体に所属している。

⑧学生納付金に関する情報

流通科学大学

項目			入学時	後期(9月)	納付額
初年度のみ	入学金		300,000 円	—	300,000 円
	受託徴収金	教育後援会入会金	10,000 円	—	10,000 円
		学生教育研究災害傷害保険料	4,140 円	—	4,140 円
学費	授業料		385,000 円	385,000 円	770,000 円
	施設設備維持拡充費		50,000 円	50,000 円	100,000 円
	教育充実費		50,000 円	50,000 円	100,000 円
	受託徴収金	教育後援会費	42,000 円	—	42,000 円
合計			841,140 円	485,000 円	1,326,140 円

<2年目以降の納付金>			前期(4月)	後期(9月)	納付額
学費	授業料		385,000 円	385,000 円	770,000 円
	施設設備維持拡充費		50,000 円	50,000 円	100,000 円
	教育充実費		50,000 円	50,000 円	100,000 円
	受託徴収金	教育後援会費	42,000 円	—	42,000 円
合計			527,000 円	485,000 円	1,012,000 円

<入学時までに必要な費用>

一次手続費用 (入学金)	二次手続費用 (前期授業料等)
300,000 円	541,140 円

入試方式によっては、合格後の入学手続をする場合、一括(入学金、前期納付金)での納付となる。

2年次編入の場合、学生教育研究災害傷害保険料は3,230円(3年間分)、3年次編入の場合は2,170円(2年間分)となる。

- 授業料等納付金は、在学中も物価上昇率、教育研究条件向上分などを勘案して改定されることがある。
- 2年目以降の納付金は、前期および後期納付金。
- 学生教育研究災害傷害保険料は、改定されることがある。その場合は、合格時に送付する入学手続要項で通知する。
- 各締切日までに入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして扱う。
- いったん納入された入学金、書類などは、いかなる場合も返還しないこととする。

流通科学大学大学院

項目			納付額	
			修士課程	博士後期課程
初年度 のみ	入学金		300,000 円	300,000 円
	受託徴収金	学生教育研究災害傷害保険料	2,170 円	3,230 円
	初年度のみ 合計		302,170 円	303,230 円
前期	前期授業料		320,000 円	320,000 円
	前期教育充実費		50,000 円	50,000 円
	受託徴収金	教育後援会費	30,000 円	30,000 円
	前期納付金 合計		400,000 円	400,000 円
入学時納付金 合計			702,170 円	703,230 円
後期	後期授業料		320,000 円	320,000 円
	後期教育充実費		50,000 円	50,000 円
後期納付金 合計			370,000 円	370,000 円
納付金合計			1,072,170 円	1,073,230 円

2 年目以降の納付金			前期(4 月)	後期(9 月)
前期	前期授業料		320,000 円	320,000 円
	前期教育充実費		50,000 円	50,000 円
	受託徴収金	教育後援会費	30,000 円	30,000 円
前期納付金 合計			400,000 円	400,000 円
後期	後期授業料		320,000 円	320,000 円
	後期教育充実費		50,000 円	50,000 円
後期納付金 合計			370,000 円	370,000 円

- 本大学学部卒業後、大学院修士課程に入学する者、及び本大学院修士課程終了後、博士後期課程に入学する者は、その入学金を全額免除する。
- 授業料等納付金は、在学中も物価上昇率、教育研究条件向上分などを勘案して改定されることがある。
- 学生教育研究災害傷害保険料は、改定されることがある。その場合は、合格時に送付する入学手続要項で通知する。

⑨学生支援と奨学金に関する情報

< 学生支援組織 >

学生支援	組織名	機能
就職支援	就職部	・就職ガイダンス ・留学生就職ガイダンス ・個別面談・面接トレーニング ・グループワーク、グループディスカッション練習 ・就職対策宿泊セミナー ・就職父母懇談会 ・就活アドバイザー・チューター制度 ・業界研究セミナー、学内企業説明会 ・SPI 対策講座、SPI 対策模擬試験 ・U ターン就職支援
進学支援	入試部 教務部	・大学院入試制度の紹介等
学修支援	教務部	・卒業要件、単位修得状況、履修計画など学修・成績などに関する相談受付(随時)、低単位取得者面談 ・学修相談会(年 5 回程度)
生活支援(住居・アルバイト等)	学生部学生課 学生部留学生支援課	・不動産会社の紹介(下宿) ・掲示板を通じてのアルバイト紹介
経済支援	学生部学生課 学生部留学生支援課	・日本人学生・留学生・帰国生徒・大学院生対象の各種奨学金紹介 ・学費延納手続き
保健・衛生・メンタルヘルス等	学生部学生課 (保健室) (学生支援室)	・学校医による定期的な健康相談(内科医、精神科医) ・健康相談 ・臨床心理士による心の相談やスキルトレーニング等 ・怪我、体調不良の際の応急手当、病院の紹介等 ・健康教育(喫煙、食生活、アルコール、ドラッグ、日常生活リズムなど) ・保険加入、請求手続き ・健康診断

＜奨学金＞

『日本人学生対象の奨学金制度』

「中内学園特別奨学金」

（資格） 2年次以上の学部学生で、学業成績基準・学業成績以外基準の両方を満たし、選考を通過した者

- ・各学年 10 名以内
- ・他の奨学金との重複受給可能

（支給方法） 給付

（支給期間） 1 年間

（金額） 20 万円（年額）

（2023 年度実績） 2 年生 10 名、3 年生 10 名、4 年生 6 名

「下宿サポート奨学金」

（資格）・入学前に賃貸借契約を締結し、下宿することが決定している者

（賃貸借契約書締結の日付は 3 月 31 日までとし、入学手続き締切日までに事前申込書を提出）

- ・入学後に申請書を提出した者

（支給方法） 給付

（支給期間） 入学時 1 回限り

（金額） 20 万円

（2023 年度実績） 86 名

（備考） 外国人留学生対象の入試は除く全入試方式対象

「一般入試(前期 2 科目型)(中期 2 科目型)奨学金」(2020 年度入学生～2023 年度入学生)

（資格） 一般入試(前期 2 科目型)(中期 2 科目型)成績上位者

2020～2023 年度入学生：（1 年次） 入試成績上位各 10 名

（2 年次） 一定の成績条件をクリアした者

（支給方法） 減免

（支給期間） 4 年間 ※毎年審査

（金額） 2020～2023 年度入学生:38 万 5 千円

（2023 年度実績） 38 万 5 千円・・・1 年生 5 名、2 年生 0 名、3 年生 0 名、4 年生 1 名

「一般入試(前期3科目型)(中期3科目型)奨学金」(2020年度入学生～2023年度入学生)

(資格) 一般入試(前期3科目型)(中期3科目型)成績上位者

(1年次) 入試成績上位5名

(2年次以降) 上記のうち一定の成績条件をクリアした者

(支給方法) 減免

(支給期間) 4年間 ※毎年審査

(金額) 77万円

(2023年度実績) 1年生2名、2年生0名、3年生0名、4年生1名

「公募推薦入試(2科目型)奨学金」(2020年度入学生)

(資格) 公募推薦入試成績上位10名

(1年次) 入試成績上位10名(2科目の合計得点率70%以上の者)

(2年次以降) 上記のうち一定の成績条件をクリアした者

(支給方法) 減免

(支給期間) 4年間 ※毎年審査

(金額) 2020年度入学生:38万5千円

(2023年度実績) 38万5千円:4年生1名

「公募推薦入試(前期2科目型)(後期2科目型)奨学金」(2021年度入学生～2023年度入学生)

(資格) 前期2科目型:公募推薦入試成績上位10名

(1年次) 入試成績上位10名(得点率70%以上の者)

(2年次以降) 上記のうち一定の成績条件をクリアした者

後期2科目型:公募推薦入試成績上位5名

(1年次) 入試成績上位5名(得点率70%以上の者)

(2年次以降) 上記のうち一定の成績条件をクリアした者

(支給方法) 減免

(支給期間) 4年間 ※毎年審査

(金額) 38万5千円

(2023年度実績) 1年生1名、2年生0名、3年生1名

「プレゼンテーション入試奨学金」(2020 年度入学生～2023 年度入学生)

(資格) 2020 年度入学生:

(1 年次) プレゼンテーション入試成績上位 20 名(得点率 70%以上の者)

(2 年次以降) 上記のうち一定の成績条件をクリアした者

2021 年度入学生:

(1 年次) プレゼンテーション入試成績上位 10 名(得点率 70%以上の者)

(2 年次以降) 上記のうち一定の成績条件をクリアした者

2022～2023 年度入学生:

(1 年次) プレゼンテーション入試成績上位 5 名(得点率 70%以上の者)

(2 年次以降) 上記のうち一定の成績条件をクリアした者

(支給方法) 減免

(支給期間) 4 年間 ※毎年審査

(金額) 38 万 5 千円

(2023 年度実績) 1 年生 6 名、2 年生 0 名、3 年生 2 名、4 年生 3 名

「商業系等資格特別推薦入試奨学金(前期型)(中期型)・(後期型)」(2020・2021 年度入学生)

(資格) (1 年次) 商業系等資格特別推薦入試において志願時に奨学金対象資格を 2 つ以上保有している者で、

入試成績上位 20 名(前期型)、入試成績上位 10 名(中期型・後期型)

(2 年次以降) 上記のうち一定の成績条件をクリアした者

(支給方法) 減免

(支給期間) 4 年間 ※毎年審査

(金額) 38 万 5 千円

(2023 年度実績) 3 年生 3 名、4 年生 6 名

「資格利用型入試(前期型)奨学金」(2022 年度入学生)

(資格) (1 年次) 資格利用型入試(前期型)において志願時に奨学金対象資格を 2 つ以上保有している者で、

入試成績上位 20 名

(2 年次以降) 上記のうち一定の成績条件をクリアした者

(支給方法) 減免

(支給期間) 4 年間 ※毎年審査

(金額) 38 万 5 千円

(2023 年度実績) 2 年生 1 名

「海外留学等経験者入試奨学金」(2022～2023 年度入学生)

- (資格) (1 年次) 入試成績上位 5 名(得点率 70%以上の者)
(2 年次以降) 上記のうち一定の成績条件をクリアした者
- (支給方法) 減免
- (支給期間) 4 年間 ※毎年審査
- (金額) 38 万 5 千円
- (2023 年度実績) 1 年生 1 名、2 年生 1 名

「指定校推薦(高大連携協定校)入試奨学金」

- (資格) 指定校推薦入試(高大連携協定校)において志願時に本学が指定する資格2つを取得済みの者
- (支給方法) 減免
- (支給期間) 入学時 1 回限り
- (金額) 30 万円(入学金相当額免除)
- (2023 年度実績) 12 名

「編入学入試(協定校)奨学金」

- (資格) 本学協定校に在籍し、編入学試験に合格した者
- (支給方法) 減免
- (支給期間) 入学時 1 回限り
- (金額) 30 万円(入学金相当額免除)
- (2023 年度実績) 0 名

「RYUKA 特別奨学金」(2020 年度入学生～2023 年度入学生)

- (資格) (1 年次)
2020 年度入学生:センター試験利用入試合格且つ一定条件を満たした者全員
2021～2023 年度入学生:大学入学共通テスト利用型入試合格且つ一定条件を満たした者全員
(2 年次以降) 上記のうち一定の成績条件をクリアした者
- (支給方法) 減免
- (支給期間) 4 年間 ※毎年審査
- (金額) 授業料全額または半額
- (2023 年度実績) 1 年生 7 名、2 年生 11 名、3 年生 16 名、4 年生 34 名

「流通科学大学卒業生子女入学奨学金」

(資格) 学校法人中内学園教職員又は流通科学大学卒業生の子女

(支給方法) 給付

(支給期間) 入学時 1 回限り

(金額) 対象者 1 名に対し 30 万円

(2023 年度実績) 2 名

「兄弟姉妹入学奨学金」

(資格) 新入生で兄弟姉妹が本学に在学中で、かつ兄弟姉妹が申請時に休学していない者

(支給方法) 給付

(支給期間) 入学時 1 回限り

(金額) 対象者 1 名に対し 10 万円

(2023 年度実績) 10 名

「日本学生支援機構(JASSO)奨学金」

(資格) 学校教育法に規定する大学に在学する学生で、学業・人物ともに優秀であり、かつ健康で、経済的理由により修学が著しく困難である者

(選考)

- ・第一種奨学金

特に優れた学生で経済的理由により、著しく修学困難な者に貸与

- ・第二種奨学金

第一種奨学金より、ゆるやかな基準によって、選考された者に貸与

- ・給付奨学金(修学支援制度)

- ・給付奨学金(旧制度)

(支給方法) 貸与(第一種、第二種)、給付または減免(修学支援制度、旧制度)

(支給期間) 採用になった年の貸与開始から卒業までの最短修業期間

(金額)

- ・第一種奨学金

自宅通学者 2 万円、3 万円、4 万円、5 万 4 千円の中から選択

自宅外通学者 2 万円、3 万円、4 万円、5 万円、6 万 4 千円の中から選択

- ・第二種奨学金 2 万、3 万、4 万、5 万、7 万、8 万、9 万、10 万、11 万、12 万の中から選択

・給付奨学金(修学支援新制度)

自宅通学者 区分Ⅰ:3万8千3百円(4万2千5百円)、区分Ⅱ:2万5千6百円(2万8千4百円)、
区分Ⅲ:1万2千8百円(1万4千2百円)

※()内は、生活保護世帯および社会的養護を必要とする者

自宅外通学者 区分Ⅰ:7万5千8百円、区分Ⅱ:5万6百円、区分Ⅲ:2万5千3百円

・給付奨学金(旧制度)

自宅通学者 3万円

自宅外通学者 4万円

(2023 年度実績) 第一種 606 名、第二種 815 名、給付奨学金(修学支援新制度)451 名、給付奨学金
(旧制度)0 名

(備考) 返還 第一種奨学金＝無利子、第二種奨学金＝有利子

「(公財)瀧川奨学財団」

(資格) 兵庫県出身者の者で、学業優秀、品行方正、身体強健でありながら経済的理由で修学困難な者

(支給方法) 給付

(支給期間) 4 年間

(金額) 2 万 5 千円(月額)

(2023 年度実績) 4 名

「その他の奨学金」

三木市教育委員会奨学金[給付:月額 9 千円]・・・4 名

交通遺児育英会奨学金[貸与:月額 4 万円または 5 万円または 6 万円]・・・1 名

あしなが育英会[月額 7 万円(うち貸与 4 万円、給付 3 万円)または月額 8 万円(うち貸与 5 万円、給付 3 万円)]・・・7 名

神戸やまぶき財団奨学金[給付:年額 101 万 2 千円]・・・1 名

和佐見丸和財団奨学金[給付:2 ヶ月の額 10 万円]・・・3 名

長崎県育英会[入学時一括貸与:70 万円]・・・1 名

神戸市大学奨学金[給付:月額 1 万 5 千円または 2 万円]・・・2 名

和気町奨学金[貸与:月額 3 万円]・・・1 名

川尻育英奨学金[給付:年額 48 万円]・・・1 名

オークネット奨学金[給付:年額 48 万円]・・・1 名

LPC 奨学金[給付:年額 48 万円]・・・2 名

『留学生・社会人・帰国生徒対象の奨学金制度』

「中内学園特別奨学金」

(主旨)

本学が育てたい人物像として掲げる「ネアカ のびのび へこたれず」の精神にふさわしい学業成績基準及び学業成績以外基準を満たした者に、その成果を称え、更なる向上を奨励することを目的に支給する。

(資格)

- ・各学年 8 名以内
- ・留学生、社会人入試、帰国生徒入試入学者
- ・学業・人物ともに優秀であること
- ・経済的理由により修学が困難と認められること
- ・アジアスカラシップを除く他の奨学金受給、及び授業料減免の学生は対象外

(支給方法) 給付

(支給期間) 1 年間

(金額) 63 万 6 千円(年額)

(2023 年度実績) 2 年生 4 名、3 年生 7 名、4 年生 6 名

「私費外国人留学生授業料減免」

(主旨)

学業・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由により修学が困難と認められる「留学」の資格を持つ外国人留学生に対し免除する。

(資格)

- ・私費外国人留学生
- ・学業・人物ともに優秀であること
- ・経済的理由により修学が困難と認められること

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 1 年間

(金額) 授業料の 100%(院のみ)、50%もしくは 30%

(2023 年度実績) 授業料 100%減免 学部生 0 名、大学院生 11 名

授業料 50%減免 学部生 18 名、大学院生 5 名

授業料 50%減免(半期のみ) 学部生 1 名、大学院生 0 名

授業料 30%減免 学部生 400 名、大学院生 1 名

授業料 30%減免(半期のみ) 学部生 22 名、大学院生 0 名

「私費外国人留学生精勤者等授業料減免」

(主旨)

学業・人物ともに優秀であり、「留学」の資格を持つ外国人留学生に対し免除する。

(資格)

- ・私費外国人留学生
- ・学業・人物ともに優秀であること

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 1 年間

(金額) 授業料の 100%(院のみ)、50%もしくは 30%

(2023 年度実績) 授業料 100%減免 学部生 0 名、大学院生 7 名

授業料 50%減免 学部生 13 名、大学院生 11 名

授業料 30%減免 学部生 187 名、大学院生 4 名

授業料 30%減免(半期のみ) 学部生 2 名、大学院生 0 名

「アジアスカラシップ」

(主旨)

外国人留学生特別指定校推薦入試で合格し、特に優秀な成績を収め入学するアジア各国の留学生で、留学に係る学資の支弁が困難な者に対して支給する。

(資格)

アジア各国の国籍を保有する成績優秀者で、学費の支弁が困難な者。但し、外国人留学生特別指定校推薦入試による授業料半額免除と重複する場合は、本奨学金のみを対象とする。

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 2 年間～4 年間

(金額)

(1) 1 年次 80 万円(年額)、2 年次 20 万円(年額)、3 年次以降は支給なし

(2) 1 年次 120 万円(年額)、2 年次 60 万円(年額)、3 年次以降は支給なし

(3) 1 年次 120 万円(年額)、2 年次 110 万円(年額)、3 年次 110 万円(年額)、4 年次 110 万円(年額)

(2023 年度実績) (1)1 名、(2)0 名、(3)2 名(うち 1 名半期)

「外国人留学生特別指定校推薦入試奨学金」

(主旨)

外国人留学生特別指定校からの推薦による留学生入試に出願し、合格した者の授業料半額(38万5千円)を免除

(資格)

外国人留学生特別指定校推薦入試で合格し入学した者。但し、アジアスカラシップ制度による奨学金を受給する者は、本制度の対象としない。

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 4年間 ※毎年審査

(金額) 38万5千円(年額)

(2023年度実績) 32名

「外国人留学生編入学試験奨学金」

(主旨)

外国人留学生対象の入試で合格し、編入学生として入学する留学生に対して、授業料30%(23万1千円)を免除

(資格)

外国人留学生対象の編入学試験で合格し入学した者(「留学」の資格を持つ外国人留学生)を対象とする。

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 2～3年間 ※毎年審査

(金額) 23万1千円(年額)

(2023年度実績) 21名

「特別指定校からの推薦による外国人留学生編入学試験奨学金」

(主旨)

外国人留学生対象の特別指定校からの推薦入試で合格し、編入学生として入学する者を対象とし、授業料半額(38万5千円)を免除

(資格)

特別指定校からの推薦による外国人留学生対象の編入学試験で合格し入学した者

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 2～3年間 ※毎年審査

(金額) 38万5千円(年額)

(2023年度実績) 14名

「Welcome to KOBE 奨励金」

(主旨)

流通科学大学がある「神戸」で学ぶ留学生を支援する奨励金として、1 年次前期授業料から 20 万円を免除

(資格)

外国人留学生を対象とした入試方式で入学した者

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 入学時 1 回限り

(金額) 20 万円

(2023 年度実績) 225 名

「外国人留学生日本語能力奨学金」

(主旨)

日本語能力試験 N1 相当及び N2 相当の資格を取得している者を対象に奨学金相当額を減免又は給付

(資格)

外国人留学生を対象とした入試方式で入学した者

(支給方法) 授業料 免除または給付

(支給期間) 入学時 1 回限り

(金額) 日本語能力試験 N1 相当資格取得者 20 万円、日本語能力試験 N2 相当資格取得者 10 万円

(2023 年度実績) 日本語能力試験 N1 相当資格取得者 20 名

日本語能力試験 N2 相当資格取得者 115 名

「学習奨励費」

(主旨)

学習の成果を称え、更なる向上を奨励するために、成績優秀な「留学」の資格を持つ外国人留学生に対し支給する。

(資格)

- ・留学生入試入学者
- ・学業・人物ともに優秀であること
- ・経済的理由により修学が困難と認められること

(支給方法) 給付

(支給期間) 1 年間

(金額) 学部生 4 万 8 千円(月額) 大学院生 4 万 8 千円(月額)

(2023 年度実績) 学部生 6 名(うち、4 名は 6 ヶ月採用、1 名は予約枠)

(備考) 財源:文部科学省

「ロータリー米山奨学金」

(主旨)

将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。

(資格)

指定校となっている大学院修士課程 1、2 年生を対象とする。

(支給方法) 給付

(支給期間) 最長 2 年間

(金額) 14 万円(月額)

(2023 年度実績) 大学院生 1 名

(備考) 財源:日本全国のロータリアン(ロータリークラブ会員)の寄付金

「その他の奨学金」

イオン 1%クラブ奨学金・・・2023 年度実績 学部生 6 名

JEES 日本語教育普及奨学金・・・2023 年度実績 学部生 1 名

平和中島財団奨学金・・・2023 年度実績 学部生 1 名

神戸市留学生奨学金(神戸・菅原奨学金)・・・2023 年度実績 学部生 4 名

(3) 管理運営の概要

【ガバナンス】

「理事会」……………学校法人の業務を決し、理事の職務の執行を監督する。

「評議員会」……………予算、事業計画、寄附行為の変更等について、理事長があらかじめ諮問する。

「学長会議」……………本学の学則その他教学に関する重要な規則、本学の重要な施設設備、本学の入試制度・募集定員及び入試日程、本学学生の卒業の要件の基準、本学学生の身分・懲戒及び学生支援、本学の教育課程の編成、その他本学の運営に関する学長の諮問等について調査審議する。

「教授会」……………学生の入学及び卒業、学位の授与、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要として学長が定めるものについて学長が決定を行うに当たり意見を述べる。その他、学長及び学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べる。

「研究科委員会」…学生の入学及び課程の修了、学位の授与、教育研究に関する重要な事項で、委員会の意見を聴くことが必要として学長が定めるものについて学長が決定を行うに当たり意見を述べる。その他、学長及び研究科長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べる。

2023 年度の開催回数について

理事会	5 回	教授会	51 回(商学部 17 回、経済学部 17 回、人間社会学部 17 回)
評議員会	4 回		
学長会議	13 回	研究科委員会	7 回

【内部質保証方針】

1. 内部質保証に関する本学の基本的な考え方

①本学において「内部質保証」とは、本学における教育の企画・設計、運用、検証及び改善・向上の一連の過程を重ねることを通じて、本学が行う教育及び本学学生の学びの質の向上を図るとともに、これらが適切な水準にあることを説明し証明していくための恒常的・継続的なプロセスをいう。

②本学は以下によって定めるところに従い、教育活動を実施するとともに、その基盤の整備を図る。これらは、本学における内部質保証の基点となるとともに、内部質保証の過程において、必要に応じそれ自体が検証・改善の対象となる。

- ・ 本学学則その他本学の理念・目的を明示した規則・文書等
- ・ 本学の各学部及び流通科学研究科における「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー) 及び「入学者の受入れ方針」(アドミッション・ポリシー)
- ・ 学園又は本学が本学の教育活動その他の事業活動に関して定める諸方針及びそれらに関して策定する諸施策
- ・ 学園が策定する中長期計画及びこれに基づく単年度ごとの事業計画

③本学は内部質保証の推進に関する組織体制及び手続を適切に整備し運用することを通じて、内部質保証の実質化を図る。

2. 内部質保証の推進に関する組織体制

- ①教育審議会をもって本学における全学的な内部質保証の推進に責任を負う組織とする。教育審議会の権限・組織等については、「流通科学大学教育審議会規則」の定めるところによる。
- ②教育審議会以外の全学的組織及び学部・研究科その他の学内各組織（以下「学内各組織」という。）における内部質保証の推進に関する組織体制については教育審議会の審議を経て、学長が別に定める。
- ③教育審議会は、学内各組織において内部質保証を推進するにあたり、その指針を策定し、提言・助言を行うとともに、学内各組織間の有機的な連携を図る。
- ④教育審議会に自己点検・評価専門部会を置く。自己点検・評価専門部会は、本学教職員の中から教育審議会座長が指名する委員によって構成し、次の各号に掲げる事項を行う。
 - (ア)全学的な観点から行う自己点検・評価の企画及び実施
 - (イ)学内各組織において実施する自己点検・評価に対する指針の策定、助言及び支援
 - (ウ)全学的な観点からの自己点検・評価報告書の取りまとめ

3. 内部質保証推進体制の運営

- ①本学が行う教育及び本学学生の学びの質の向上を図るためには、教育課程内・外の区分を問わず、学内各組織のすべてにおいて内部質保証を推進するとともに、学内各組織の構成員である教職員が、各自担当する科目や職務においても内部質保証の過程を重ねることが求められる。教育審議会は、これらの活動が効果的に進められるよう、その指針を策定し、提言・助言を行うとともに、学内各組織間や各教職員間の有機的な連携を図る。
- ②本学が行う教育及び本学学生の学びの実態や成果等に関する客観的なデータの収集・分析を行い、それらに基づく自己点検・評価を通じた信頼性の高い内部質保証を図る。
- ③本学が行う教育及び本学学生の学びに対する社会的要請の動向・変化を的確にとらえ、継続的にそれらの改善・向上を図る。その一環として、外部評価・第三者評価及び認証評価機関による認証評価結果を適切に活用するとともに、本学が実施する自己点検・評価の客観性及び妥当性の確保を図る。
- ④全学的な観点からの自己点検・評価結果、外部評価・第三者評価結果及び認証評価機関による認証評価結果を適切な手段・方法によって公表する。

【情報公開】

流通科学大学は学校教育法施行規則第172条の2に基づき、公表すべき教育研究活動の状況をホームページ上において公開し、公正かつ透明性の高い運営の実現に努めている。

【施設設備整備】

<大学の全体イメージマップ>



<概要>

1.ベルタワー

2.附属図書館・・・1F:ラーニングコモンズを設置(グループ学習等の利用が可能)

2F:学生専用自習室を設置

3.メディアセンター・・・1F:パソコン(個人席):45台/カラープリンター:4台/スキャナ:2台

2F:パソコン 26台/MacBook Air:1台/カラープリンター:2台/ノートパソコン:14台

スキャナ:2台/プロジェクター:1台/スクリーン:1面

4.本部棟(事務局・受付)・・・庶務部

5.中内功記念館・・・1997年9月開館

6.思索の中庭

7.講義棟1、研究棟1

8.大学院

9.ダイエー資料館

10.講義棟2、研究棟2

11.講義棟3、研究棟3

12.保健室

13.講義棟5、研究棟5

14.クラブハウス・・・第1、第2、第3クラブハウスを設置

15.アスレチック棟・・・コート2面(観客席あり)、武道場2面、スタジオ1面設置(空調完備)

16.講義棟6・・・1F:教務部・就職部・学生部、2F:PC演習室、3F:大教室、中教室

17.学生用駐車場

18.RYUKA HALL

19.ローソン流科大実習店

20.RYUKA DINING(レストラン)

- 21.テニスコート(6 面)
- 22.人工芝グラウンド(夜間照明つき)
- 23.西グラウンド
- 24.国際交流施設学生寮・・・和室、自習室、多目的室(2 室)、レクリエーションルームを設置。
寮室は全 192 室(個室)

<大学全体について>

・校地

総面積

流通科学大学キャンパス 164,454.91 平方メートル

・建物

延床総面積 52,783.39 平方メートル

・講義棟

1. 講義棟 1

延床面積 4759.86 平方メートル 3 階建 1988 年 1 月完成

2. 講義棟 2

延床面積 4659.56 平方メートル 8 階建の内の 1～3 階 1992 年 3 月完成

3. 講義棟 3

延床面積 2391.68 平方メートル 5 階建の内の 1～3 階 1994 年 3 月完成

4. 講義棟 4

延床面積 2205.79 平方メートル 地下 1 階付き 2 階建 1994 年 3 月完成

5. 講義棟 5

延床面積 5618.35 平方メートル 4 階建の内の 1～3 階 2001 年 3 月完成

6. 講義棟 6

延床面積 4918.49 平方メートル 3 階建 2007 年 7 月完成

・本部棟・研究棟

7. 本部棟

延床面積 2719.57 平方メートル 4 階建 1988 年 1 月完成

8. 研究棟 1

延床面積 2925.74 平方メートル 3 階建 1988 年 1 月完成

9. 研究棟 2

延床面積 2687.35 平方メートル 8 階建の内の 4～8 階 1992 年 3 月完成

10. 研究棟 3

延床面積 1196.92 平方メートル 5 階建の内の 4～5 階 1994 年 2 月完成

11. 研究棟 5

延床面積 1680.00 平方メートル 4 階建の内の 4 階 2001 年 3 月完成

・大学附属建物

12. 図書館

延床面積 1559.63 平方メートル 3 階建て 1988 年 1 月完成

蔵書数 201,808 冊、雑誌 1,288 種

13. アスレチック棟

延床面積 6571.22 平方メートル 地下 1 階付き 3 階建 2006 年 4 月完成

14. 中内町記念館

延床面積 453.02 平方メートル 地下 1 階付き 2 階建 1997 年 9 月完成

15. キャッシュレジスター博物館

延床面積 180.00 平方メートル 2 階建の内の 2 階 2011 年 9 月完成

16. RYUKA HALL

延床面積 1892.13 平方メートル 2 階建て 1988 年 1 月完成

17. RYUKA DINING(レストラン)

延床面積 3207.20 平方メートル 2 階建て 1988 年 1 月完成(1994 年 3 月増築)

18. 第 1 クラブハウス

延床面積 2216.93 平方メートル 2 階建て 1989 年 10 月完成(2000 年 1 月増築)

19. 第 2 クラブハウス

延床面積 864.00 平方メートル 2 階建て 2008 年 7 月完成

20. 第 3 クラブハウス

延床面積 441.88 平方メートル 2 階建て 2012 年 2 月完成

21. 国際交流施設学生寮

延床面積 7788 平方メートル 3 階建て 2018 年 2 月完成

寮室 192 室

22. 駐車場台数

約 400 台(学生用 313 台、教職員用 85 台)

23. 駐輪場台数

約 350 台

24. グラウンド

西側グラウンド

25. 流通科学大学野球場

敷地面積 26090.45 平方メートル 2009 年 11 月完成

(更衣室等 171.95 平方メートル)

26. 東京オフィス

賃貸面積 260 平方メートル

•大学航空写真(2018 年 2 月撮影)



(4) 上記「(1)～(3)」以外の特長ある取り組みの概要

①教育力向上の取り組みの概要

- ・「学生による授業改善アンケート」導入(1994 年度)
- ・「学生による授業評価」結果を教職員に公表し、情報共有(2001 年度)
- ・「全学的一斉授業公開(オープンクラスウィーク)制度」導入(2003 年度)
- ・FD・SD 研修会の継続実施
- ・FD・SD の推進
- ・学生カルテ、学生ポートフォリオの構築・研究
- ・学生アンケートの実施と分析
- ・教育指導法の開発・改善に関する調査研究
- ・研究会、講習会、後援会、公開講座などの開催
- ・研究成果の刊行
- ・学生の学修相談
- ・オフィスアワーや学習の場所の提供に關すること
- ・初年次教育への CA(class assistant)制度の導入(2015 年度)
- ・2016 年度入学生より GPA を導入
- ・2020 年度入学生より GPA により履修制限数の緩和と厳格化を実施
- ・2020 年度入学生より履修制限外科目の見直し(経済学部:公務員特別クラス等)
- ・「授業公開デイ(保護者参観)」を実施(保護者が実際に授業を参観し教員と意見交換可能)(2007 年度)
- ・「授業公開デイ」を祝日授業日に実施(2021 年度より)
- ・教職員による学修相談(2022 年度前期より)

②国際交流の概要

<海外留学制度>

- ・交換留学制度
2023 年度 派遣 0 名・受入 12 名(中国 5 名・ベトナム 4 名・台湾 2 名・韓国 1 名)
- ・認定留学制度
2023 年度 派遣 1 名(台湾)

<海外語学研修>

- ・夏季、春季を利用した研修プログラムで、各国の大学の寮やホストファミリーの家に宿泊しながら、語学プログラムを受講。期間は 3 週間程度。研修実施国(地域)は、隔年でアメリカまたはニュージーランド。
- ・8/16～9/10 アメリカ・ポートランド州立大学 参加者 6 名(日本人 6 名)

<異文化理解>

- ・コロナ禍により本来の科目の目的である海外での実施ができていなかったが、2023 年度はベトナムでの実施が実現した。:参加者 5 名、引率教職員 2 名

<English Café>

- ・英語に興味はあるが自信がなく、どのように学習すれば良いかわからない状況の学生が、まず第一歩が踏み出せるように、「カフェ」のような場所を提供する。また、海外研修や短期留学に金銭的な問題で参加できない学生をフォローする意味でもこの English Café をキャンパス内ミニ留学の役割を果たす存在とする。

2023 年度 [前期] 開催無し

[後期]月曜日・水曜日・金曜日 12:30-15:30 延べ名参加 650 名

<海外の提携校>

- ・台湾・・・国立高雄科技大学、南台科技大学、中国科技大学
- ・韓国・・・東亜大学校、中央大学校、東明大学校、明知大学校
- ・中国・・・南開大学、東北財経大学、大連海事大学、復旦大学経済学院、蘇州大学応用技術学院、
南京大学大学外語部、四川外国語大学、天津商業大学、常熟理工学院、常州観光ビジネス高等
職業技術学院
- ・ベトナム・・・貿易大学、ホーチミン市師範大学、タンロン大学、ダナン大学、ハノイ国家大学外国語大学
- ・タイ・・・カセサート大学、ブラパー大学、パンヤピワット経営大学
- ・ニュージーランド・・・ワイカト大学
- ・アメリカ・・・ポートランド州立大学、セントラルワシントン大学
- ・フィンランド・・・バーサ大学
- ・フランス・・・ESC ブルターニュブレスト

<留学生支援課>

- ・留学生が日本で学生生活を送るためには、日本の法律を遵守すると共に、一人一人の人生や目標を大学側とよく話し合い、相談しながら「なりたい自分」に向って進んで行く必要がある。特に留学生に関係する法律や入国関係の知識を持ち、留学生に寄り添って各種支援を行なうために留学生支援課が設置されている。

③社会や企業と連携した社会共創活動の概要

<活動実績(2023 年度)>

- ・第 7 回神戸学生イノベーションズ・グランプリ(I-1 グランプリ)

概要：アシックス商事株式会社の協力のもと「シューズ市場における新たな価値創出 スポーツデータ分析システム『ASICS TUNEGRID』の新たな活用方法を考えよう！」をメインテーマに開催。本学からは 12 チームが参加。フィールドワークでは、「アシックススポーツミュージアム」を訪問し、施設を見学するとともに、今回の課題である分析システムと連動し情報を伝達する、小型センサー『TUNEGRID-CUBE』を身体に装着し、実際に体験。フィールドワークや、データ収集・分析を通してターゲット層をまとめ、学生ならではの視点から、各チームは具体的かつ実現性の高い、個性あふれる提案を行った。シミックス(清水信年ゼミ)が優勝、森脇ゼミ 3 年生チーム(森脇丈子ゼミ)が特別賞を受賞。

連携先:アシックス商事株式会社

日程:2023 年 7 月～2023 年 12 月

参加状況:3 大学(本学・神戸芸術工科大学・兵庫県立大学)、16 チーム・79 名(本学:62 名・12 チーム)

・Student Innovation College(S カレ 2023)

概要:マーケティングを学ぶ 32 大学 38 ゼミ 552 名の 3 年生による 169 チームがゼミ対抗で、9 テーマの商品企画を Facebook で公開し「いいね!」で支持を集め、コメントで改善し、発売を目指す商品企画コンテスト。「秋カン」(大会)でコンセプトを、また「冬カン」(大会)で商品化権を最終プランで競い合い、翌秋カンでは発売実績にもとづき総合優勝を争奪する。本学では、2008 年より後援団体として S カレを支援しており、毎年、清水信年ゼミが参加。

【取組テーマ】

- ・「体験価値のある段ボール商品」(株式会社美販)
- ・「@マンションで使う磁石商品」(ニチレイマグネット株式会社)
- ・「社会課題を解決する印刷製品」(株式会社明成孝橋美術)
- ・「暮らしに役立つ便利商品」(スマイルキッズ株式会社)
- ・「未来が描けるノートづくり」(大阪書籍印刷株式会社)
- ・「デジタル化時代に必要な手帳」(伊藤手帳株式会社)
- ・「『地方創生型』栗の商品開発」(株式会社みさと産地型商社)
- ・「Z が共感! ストーリービール」(サッポロビール株式会社)
- ・「女子サッカー応援商品」(加茂商事株式会社)

連携先:S カレ委員会

日程:2023 年 6 月～2023 年 12 月

参加状況:全国 32 大学(愛知学院大学・追手門学院大学・大阪市立大学・大阪成蹊大学・岡山理科大学・小樽商科大学・関西大学・関西学院大学・京都産業大学・共立女子大学・近畿大学・甲南大学・神戸大学・駒澤大学・滋賀県立大学・滋賀大学・高崎経済大学・中京大学・同志社大学・名古屋市立大学・南山大学・日本大学・福岡大学・法政大学・武庫川女子大学・武蔵野大学・明海大学・目白大学・山梨学院大学・立命館大学・流通科学大学・和歌山大学)38 ゼミ・552 名

・2023 年度人生 100 年時代の社会人基礎力育成グランプリ

概要:経済産業省がとりまとめ定義した「人生 100 年時代の社会人基礎力」の育成に資する各大学の取り組みと、その取り組みで成長を遂げた学生の多様な事例を審査、表彰し、その事例の周知を目的に実施される「人生 100 年時代の社会人基礎力育成グランプリ」に本学から、長坂ゼミと山川ゼミが参加。

山川ゼミは地区予選大会で最優秀賞を受賞し、3 年ぶりに全国決勝大会に進出。結果、社会人基礎力大賞を受賞した。

【長坂ゼミ】

- ・テーマ:衰退した商店街での飲食店経営および津波被災地での夏祭り経営からの得難い学び
～神戸平野商店街及び岩手県陸前高田市～

【山川ゼミ】

- ・テーマ:社会人基礎力の育成・強化を意図した「3 つの実学的な経験学習」への取り組み

連携先:一般社団法人社会人基礎力協議会

日程:2024 年 1 月～2024 年 3 月

参加状況:2 チーム(長坂泰之ゼミ 3 年生、山川拓也ゼミ 3 年生)・参加総数 17 名

・コイズミ物流株式会社との連携企画

概要:2022 年度からの継続企画。今年度は、『新規事業創出』『荷役作業の効率化』『倉庫スペースの有効活用』『物流業界の労働力不足改善策』『倉庫内における労働環境の改善』の 5 つのテーマのもと、コイズミ物流(株)に対し、フィールドワークを通して抽出した問題点を整理し、具体的な数字やデータ、事例などを使用しながら課題解決のための提案を実施。各チームの提案は以下のとおり。

【田中ゼミ】

- ・提案する共同配送への深堀り検証
- ・荷役作業の効率化ーRFID の導入可能性
- ・物流業界に対する関心度の現状と改善策の提案
- ・倉庫内における労働環境の改善

【李ゼミ】

- ・デジタルピッキングの導入
- ・動画プラットフォームでの起業 PR
- ・レンタルサービスの提案
- ・フィギュアエキシビジョンサービスの提案

連携先:コイズミ物流株式会社

日程:2023 年 4 月～2023 年 10 月

参加状況:27 名(田中康仁ゼミ 3 年生・李志明ゼミ 3 年生)

・神戸商工会議所支援「焼き鳥のんちゃん」プロジェクト

概要:創業 60 年を誇る老舗焼き鳥屋さん「のんちゃん」の活性化提案を実施。のんちゃんの料理を実際に試食し、店の内装を分析しながら若者が利用しやすい店づくりや、学生ならではの目線から新メニューを提案。また、10 月 28 日(土)に開催された『ENJOY!! NADA SAKE KANPAI FES.』にて、本学ベトナム人留学生が考案した「のんちゃん」とのコラボ商品を販売した。

【のんちゃんとのコラボ商品】:

なんこつ唐揚げ ベトナム風たれ(ニョクマムソース or スイートチリソース)

連携先:有限会社辻野商店

日程:2023 年 4 月～2023 年 7 月

参加状況:16 名(後藤こず恵准教授指導『専門基礎演習』クラス 2 年生)

・日本最大級の無料チャリティーフェス COMING KOBE プロジェクト

概要:COMING KOBE(阪神・淡路大震災の復興支援に対する被災地からの恩返しとして意味づけられているチャリティ音楽イベント)においてイベント運営を担当。チーム内でのコミュニケーション能力や課題発見力、対応力の向上、マーケティング手法に基づく知識とスキルの活用力を育むとともに、ビジネスマナーの習得を目指した。

連携先:一般社団法人 COMING KOBE 実行委員会

日程:2023 年 4 月～2023 年 5 月

参加状況:5 名(西村典芳教授指導【個人エントリー】:人間社会学部 1 年生・3 年生・4 年生)

・尼崎市内企業魅力発信事業

概要: 尼崎市役所から紹介いただくものづくり企業の技術力を生かし、マーケティングを学ぶ大学生が新商品やマーケティングの企画提案を行う事業で、2015 年度より清水ゼミが毎年参画。2 年生後期から 3 年生の前期まで半年にわたり取り組む活動。今年度の活動は以下のとおり。

【3 年生ゼミ】

- ・ご協力企業: 株式会社エア・グラウンド
- ・テーマ: 「ROBOMATES のブランド・ステートメントを提案する」
- ・日程: 2022 年 11 月～2023 年 4 月

【2 年生ゼミ】

- ・ご協力企業: トータルパック株式会社
- ・テーマ: 「段ボールのフルカラー印刷技術を用いた新商品提案」
- ・日程: 2023 年 11 月～

連携先: 尼崎市経済環境局

参加状況: 29 名 (清水信年ゼミ 2・3 年生)

・流通科学大学「国際交流バスツアー」企画・運営の受託

概要: 昨年度に引き続き、山川ゼミの学生が本学留学生支援課の担当する国際交流バスツアーの企画・運営に係る業務の一部を観光商品マーケティングでの実践型プロジェクトとして実施。今回は自然と芸術に触れながら、体験学習も楽しめる淡路島・徳島を満喫する国際交流バスツアーを企画。ツアー当日は、安全かつ時間通りの運行管理やツアーガイドを務めた。

連携先: 名鉄観光サービス株式会社

日程: 2023 年 4 月～2023 年 6 月

参加状況: 6 名 (山川拓也ゼミ 3 年生)

・北陸カレッジ

概要: JR 西日本・自治体・大学が連携し、若者視点を活用した地域活性化、旅行需要の喚起、学生の成長機会の創出を目指す産官学のプロジェクト。羽藤ゼミは福井県小浜市と連携。現地研修を行い、小浜市を分析し、若年層の少なさ、季節による集客数の差、キャッシュポイントの少なさに注目し、母娘をターゲットにし、現地でのアクティビティの改善やプロモーションを検討。“母娘の卒業旅行”をテーマに小浜市ならではの魅力や特産品を活かしながら、母と娘の絆を深め、感謝を伝え合える旅行プランを提案した。

連携先: 西日本旅客鉄道株式会社

日程: 2023 年 5 月～2024 年 3 月

参加状況: 13 名 (羽藤雅彦ゼミ 3 年生)

・レッドハリケーンズ大阪観戦者調査プロジェクト

概要:レッドハリケーンズ大阪と協働し、集客増に向けた基礎資料を得ることを目的に、スタジアムでの「来場者満足度向上に向けたアンケート」調査を実施。収集したデータを分析し、5 月には兵庫体育・スポーツ科学学会にて 3 題ポスター発表を実施。その後も、観戦者調査のデータを再分析し、報告書の作成、並びにレッドハリケーンズ大阪に対して報告会を実施した。なお、兵庫体育・スポーツ科学学会では、2 チームが学生優秀発表賞・優秀賞をそれぞれ受賞した。

連携先:レッドハリケーンズ大阪

日程:2023 年 4 月～2023 年 7 月

参加状況:12 名(山口志郎ゼミ 3 年生)

・神戸の大学生目線での神戸の魅力発信及び就航地(高知地域・長野県松本地域)の魅力発信

概要:昨年度実施したフジドリームエアラインズ(FDA)の知名度向上、及び神戸空港発着を中心とした便の利用者増につながる企画提案(①FDA のブースイベントに参加し、PR 活動をサポート・②SNS のさらなる活用)を具現化。また、「神戸の学生が神戸、及び就航地(高知地域・長野県松本地域)の魅力を発信する」というテーマのもと、学生ならではの視点から「写真“映え”」「空港からの行きやすさ」を考慮し、就航地の魅力を盛り込んだパンフレットやポスター、動画を作成。高知龍馬空港、信州まつもと空港、及び神戸で PR 活動を実施した。これまでの活動を 2 月 18 日(日)に神戸ハーバーランド umie にて開催された『神戸空港 18thThanks フェア』で報告した。

連携先:株式会社フジドリームエアラインズ(神戸営業所)

日程:2023 年 4 月～2024 年 2 月

参加状況:16 名(岡田恵実ゼミ 3 年生)

・神戸から陸前高田に祭りがやってきた ～こども夏祭り～

概要:2022 年度からの継続企画。今年度は陸前高田市の活性化のため、親子連れや子供たちをターゲットに、『こども夏祭り』を開催。長坂ゼミの学生が主体的に計画から出店・運営(射的・スーパーボールすくい・千本引き・駄菓子掴み取り・そばめしの 5 つのブース)を実施。また、“まちなか”のお店にも立ち寄っていただけるよう『クーポンチラシ』を作成し、回遊性の向上にも取り組んだ。

連携先:陸前高田ほんまる株式会社、陸前高田商工会

日程:2023 年 6 月～2023 年 12 月

参加状況:11 名(長坂泰之ゼミ 3 年生)

・家島活性化プロジェクト

概要:過疎化が進み、人口減少や空き家の増加が問題となっている兵庫県家島の活性化に取り組むプロジェクト。現地調査を踏まえ、島内に「案内看板の設置」をベースに活性化提案を実施。また、空き家の改修活動も加え、次年度も引き続き活動予定。

連携先:いえしまコンシェルジュ

日程:2023 年 7 月～2024 年 3 月

参加状況:10 名(辻本乃理子ゼミ 2・3 年生)

・稲美町魅力発信事業

概要:兵庫県稲美町へのふるさと納税の推進を図るとともに、町内産業の活性化を図るため、稲美町ふるさと納税返礼品協力企業(有限会社聖・キング醸造株式会社)の企業名や商品名等の PR を実施。各企業や商品の魅力をまとめた紹介文はふるさと納税サイトに掲載された。

連携先:稲美町

日程:2023 年 4 月～2024 年 3 月

参加状況:11 名(秦洋二ゼミ 3 年生)

・学生・西区連携まちづくり活動助成

概要:神戸市西区役所が提示するテーマに沿って取り組む活動で、協力団体と連携し、学生の自由で柔軟な発想による活動を応援する事業。白ゼミが合同会社小麦生活と連携。国産小麦の活用方法とおいしさを広めるために、西区産の小麦を使用した流通科学大学オリジナル商品(西区産小麦ドーナツ)を開発。流通科学大学のお土産品として販売予定。

連携先:神戸市西区

参加状況:15 名(白貞壬ゼミ 3 年生)

・シンコー食産との商品開発

概要:手づくりのキャラメルスイーツを製造・販売しているシンコー食産と連携し、シンコー食産の技術を活かした新商品の開発を実施。学生らしい感性を活かしながら既存のビジネス環境に適合したパッケージデザインや SNS を活用した販売促進策についても提案。幕張メッセで開催された「スーパーマーケット・トレードショー2024」(2 月 14 日(水)～16 日(金))において、シンコー食産と共同開発した商品 2 点(「サクッとパスタ(バター醤油味)」・「きやらふれ」)を試食品として提供。また、シンコー食産のインターネットショップにおいて販売予定。

連携先:シンコー食産株式会社

日程:2023 年 7 月～2024 年 2 月

参加状況:23 名(後藤こず恵ゼミ 2 年生)

・第 14 回関空発「学生と旅行会社でつくる」海外旅行企画コンテスト

概要:「関西国際空港発着の国際線航空便を利用して訪問できる国や地域」への「学生らしい斬新な発想かつ実効性のある旅行企画」を募集するコンテストに山川ゼミから 2 チーム(フィンランド企画提案チーム・ハワイ企画提案チーム)が参加。今回は応募総数 28 企画のなかから、予選を経て山川ゼミを含む 7 企画が最終審査に進出。企画メンターとしてマッチングされた旅行会社の助言を受けつつ、販売可能な細部まで練り上げ旅行商品を提案。フィンランド企画提案チームが準グランプリ、ハワイ企画提案チームが優秀賞をそれぞれ受賞。

・フィンランド企画提案チーム:準グランプリ

(テーマ):『全国のサウナー大集合!「サ道」を極めて心も体も整い隊 in FINLAND』

(企画メンター):株式会社阪急交通社

・ハワイ企画提案チーム:優秀賞

(テーマ):『アロハブックを持って旅に出よう!10 歳チャレンジ旅』

(企画メンター):株式会社読売旅行

連携先: 一般社団法人日本旅行業協会 (JATA) 関西支部

日程: 2023 年 6 月～2023 年 10 月

参加状況: 6 名 (山川拓也ゼミ 3 年生)

・須磨ユニバーサルビーチ活性化プロジェクト

概要: 須磨海水浴場で展開されているユニバーサルビーチの活動に青山ゼミの学生が『アカデミックパートナー』として参画。アンケート調査や須磨海岸周辺のバリアフリー調査を行い、障害者がマリンスポーツを楽しむことのできる「須磨ユニバーサルビーチ」の活性化に向けた提案を実施。

連携先: NPO 法人須磨ユニバーサルビーチプロジェクト

日程: 2023 年 7 月～2024 年 3 月

参加状況: 8 名 (青山将己ゼミ 2 年生)

・ヴィクトリーナ姫路×大学コンソーシアムひょうご神戸「スポーツビジネスコンテスト 2023」

概要: ヴィクトリーナ姫路 (バレーボール V2 リーグ女子に所属するプロバレーボールチーム) をフィールドに事業課題の解決策を企画立案、さらにそれを実践・効果検証をし、真のスポーツビジネスを学ぶコンテストに山口ゼミの 2 チーム (『集客』チームと『プロモーション』チーム) が参加。『集客』チームは、バレーボールを使ったストラックアウトやクイズなどのイベントを企画、また『プロモーション』チームは、LINE の「ショッピングカード」を活用した LINE 登録者数増加施策を企画し、12 月 23 日・24 日のヴィクトリーナ姫路のホームゲームで実践。1 月の「実践報告会」において約 5 か月間にわたる取り組みの効果検証結果を発表した。

連携先: ヴィクトリーナ姫路 (株式会社姫路ヴィクトリーナ)、一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸、株式会社立成社

日程: 2023 年 8 月～2024 年 1 月

参加状況: 12 名 (山口志郎ゼミ 3 年生)

・マスターズ甲子園 大会プロモーション推進事業

概要: 『マスターズ甲子園』(全国の高校野球 OB・OG が、出身校別にチームを組んで出場する大会) の運営委員として青山ゼミの学生が大会の企画・運営、及び大会公式 X (旧 Twitter) のアカウントを受託し、プロモーション活動を実施。大会後も継続して公式 X を運用し、インフルエンサー効果の最大化に向けた戦略の検討、ならびに効果検証を行った。

連携先: マスターズ甲子園大会事務局

日程: 2023 年 9 月～2024 年 3 月

参加状況: 8 名 (青山将己ゼミ 2 年生)

・サンテレビとの新商品開発プロジェクト

概要: 阪神ファンをはじめ 40～50 代の男女が主な購買層であるサンテレビのマスコットキャラクター「おっ！サン」を、若年層をターゲットとし、学生ならではの視点やアイデアを盛り込んで新商品の開発に挑戦。サンテレビ担当者との企画会議では、SDGs や大学生らしい視点に重きを置いたもの、学生自身の経験や体験から着想を得たものなど、次々とオリジナリティあふれる商品アイデアを提案し、活発にディスカッションを行った。その後、社内会議が行われ、2 企画の商品化が決定。実販売に向けて取り組みを継続中。

連携先:株式会社サンテレビジョン

日程:2023 年 9 月～2024 年 3 月

参加状況:16 名(岡田恵実ゼミ 2 年生)

・(株)宿場 JAPAN に対する神戸市灘区のコミュニティ・ベースド・ツーリズム計画の提案

概要:神戸市灘区水道筋商店街・灘中央市場界隈にある地域生活資源を活用した CBT (Community Based Tourism) が基軸となる観光マーケティングならびに、観光施設計画を検討。フィールドワークでの調査結果をもとに訪れた人を関係人口化に向けて発展させていくことができるコンテンツや具体的プログラムを検討。各チームは地域の魅力を踏まえ、個性あふれる以下の提案を実施。

- ・『水道筋商店街の昔の賑わいを取り戻すための若者向けのツアー』
- ・『家族連れや子どもたちが楽しめるクイズ&宝探し形式のコンテンツ』
- ・『温泉や日本酒などの日本文化を体験する夜のツアー』
- ・『豆乳や豆腐、日本酒、温泉など“水”をテーマにしたツアー』

連携先:株式会社宿場 JAPAN

日程:2023 年 9 月～2024 年 1 月

参加状況:15 名(山川拓也准教授指導『観光施設計画論』クラス 2・3 年生)

・プロラグビー選手の体力を身近に感じよう!! 対決:プロラグビー選手 vs.あなた

概要:レッドハリケーンズ大阪の観戦者にプロラグビー選手を身近に感じていただくイベントを企画。プロラグビー選手と観戦者に握力、瞬発力、脚力、立ち幅跳び、ラグビーボールの球速の 5 種類の体力測定を実施。プロラグビー選手と観戦者自身の測定データを比較することによりプロラグビー選手を身近に感じ、また観戦者自身の健康についても考える機会にしてもらうことを目的としたもの。1 月と 2 月のレッドハリケーンズ大阪のホームゲームで『体力測定イベント』を運営した。

連携先:レッドハリケーンズ大阪

日程:2023 年 11 月～2024 年 2 月

参加状況:25 名(関和俊ゼミ 2 年生・山本隼年ゼミ 2 年生)

・レッドハリケーンズ大阪における集客増に向けた企画実践

概要:レッドハリケーンズ大阪のホームゲームにおける集客増に向けた企画提案(既存の『ラグビーアクティビティ(ラグビーダーツ、パスターゲット、トライ体験)』の改善、及び新企画の提案(アンボール、スタンプラリー))を行い、12 月 16 日(土)にヨドコウ桜スタジアムで開催された「レッドハリケーンズ大阪」のホームゲーム(対日本製鉄釜石シーウェイブス)にて学生自ら考えた企画を実践。NTT ドコモジャパンラグビーリーグワン Division2 の最多入場者数(8,586 名)を更新した。

連携先:レッドハリケーンズ大阪

日程:2023 年 9 月～2023 年 12 月

参加状況:24 名(山口志郎准教授・青山将己講師指導『健康サービス企画運営演習』クラス:3・4 年生)

・カフェ空間への出店体験による地域への貢献を通じた社会人基礎力養成

概要:昨年度に引き続き、神戸市兵庫区平野地区の空き店舗を改修し、カフェ空間として整備されている【シェアカフェ KIKKAKE PLACE】を活用し飲食店経営に挑戦。出店体験を通じて社会人基礎力を養成するとともに、平野地区にない新たな価値を見出すことで地域貢献を目指すプロジェクト。出店計画、周辺調査・分析、メニュー考案、試作、仕込み、販売まで、学生自ら行い、カフェ経営を実施。

今回は、3 チームに分かれ、クレープ、ワッフル、ベトナム料理の 3 メニューを提供した。

連携先:神戸平野商店街

日程:2023 年 10 月～2024 年 3 月

参加状況:15 名(長坂泰之ゼミ 2 年生)

・流通科学大学×はりまっち企業連携プログラム「現役学生による会社説明会用プレゼン資料作成体験会」

概要:就職情報サイト・はりまっち(株式会社ダイネンヒューマン plus)から学んだ採用マーケティングの手法を活かし、学生目線で 3 社(株式会社横山建設工業、ヨドブレ株式会社、株式会社トヨタレンタリース兵庫)の強みや魅力を引き出し、会社説明会用のプレゼン資料を作成。企業にとっては、新たな発見や採用活動力の向上に、学生にとっては、プレゼンテーションやコミュニケーション能力の向上に加え、企業を見る目を養うことができる、双方にとって意義のあるプロジェクト。

連携先:株式会社ダイネンヒューマン plus

日程:2023 年 11 月～2024 年 1 月

参加状況:12 名(前川明ゼミ 2 年生)

・P-1 グランプリ 地方創生×WEB3.0 日本(地方創生)を『学ん』で『稼ぐ』!

概要:「日本(地方創生)を『学ん』で『稼ぐ』!」WEB3.0 を使った“地方創生に繋がる新ビジネス”を考えるビジネスアイデアコンテストに村上ゼミの学生が参加。

連携先:一般社団法人日本アニカナ業協会

日程:2023 年 4 月～2023 年 5 月

参加状況:1 名(村上友章ゼミ 3 年生)

・KOB2024 世界パラ陸上競技選手権大会 弁当企画

概要:KOB2024 世界パラ陸上組織委員会の事業で、本学の留学生を中心としたチームと甲南大学茶華道料理部道心会のメンバーが共同で、KOB2024 世界パラ陸上で販売する弁当を企画・開発。観客が大会をより楽しめるような食事を提供することを目的に、本学の留学生チームは、国際色豊かなワールド弁当を提案。また、開発した弁当の販売促進を兼ねて、大会のプロモーションを実施。

連携先:KOB2024 世界パラ陸上競技選手権大会組織委員会事務局(神戸市文化スポーツ局国際スポーツ室)、株式会社淡路屋

日程:2023 年 12 月～2024 年 5 月

参加状況:12 名【個人エントリー】:商学部 1 年生・2 年生・3 年生、経済学部 1 年生・2 年生

•Ryuka Innovation Team (RIT)

概要:学年や学部に関係なく、商品開発などの社会共創プログラムに興味があるメンバーで、商品開発、売り場展開やプロモーションまでを含めた総合的なマーケティング課題に取り組む「Only1・No.1」の本学独自のプログラム。

今年度は以下のプロジェクトに取り組んだ。

①『神戸ヘルスケア市民サポーター認知拡大プロジェクト』:昨年度からの継続企画

「神戸ヘルスケア市民サポーター制度」について、デジタルツールを活用した調査や学生自身がモニターとして参加。「若～中年層の登録者増」に繋がる施策を提案した。

②大関株式会社、旭食品株式会社と連携企画:

清酒離れを解消するため、若年層、女性をターゲットとして開発された商品のネーミング、商品ラベルのデザインの検討・作成、及び販促提案を実施。

新商品『Keuna hana～稀有な花～』は、兵庫県内にて1000本の数量限定で販売中。

③「身近なヒント発明展」に応募。一次審査を通過。実際に『身近なヒント発明展』に商品を展示し、来場者に商品説明を実施した。

・作品名:食材押さえ機【ボールドくん】

手や腕が不自由な方でも楽に食材を固定でき、料理するのを手助けするツール

日程:2023年4月～2024年3月

参加状況:4名(2・3年生)

④地域交流・連携 活動一覧(2023年度)

・トライやる・ウィーク

概要:近隣の中学校の2年生に5日間(9:00～15:00)、本学の様々な部署の仕事を体験いただく職場体験企画。

日程:2023年11月6日(月)～2023年11月10日(金)

受入状況:4名(太山寺中学校、桃山台中学校)

・学園夏祭り

概要:学園西町連合自治会・学園東町連合自治会主催の『学園夏祭り』が学園都市駅前のユニバードームで開催され、本学の和太鼓部と吹奏楽団がステージプログラムに出演し演奏を行った。会場には子どもからお年寄りまで多くの地域の方々が来場いただく企画。

なお、2020・2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、2022・2023年度については、感染症対策実施の上、ステージプログラムのみ開催された。

日程:2023年8月6日(日)

三	財務の概要
---	-------

(1) 決算の概要

① 〈貸借対照表（経年比較）〉

（単位：百万円）百万円未満は四捨五入

資 産 の 部					
科 目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
固 定 資 産	28,391	27,984	27,519	26,404	26,727
有形固定資産	22,613	22,133	21,694	21,246	21,088
土地	10,726	10,726	10,726	10,726	10,726
建物・構築物	10,567	10,142	9,763	9,375	9,152
教育研究用機器備品	392	348	305	258	328
図書	872	857	843	835	829
管理用機器備品	56	60	58	53	51
その他	0	0	0	0	0
特定資産	4,117	4,220	4,319	4,377	4,182
その他の固定資産	1,661	1,631	1,506	782	1,457
流 動 資 産	7,390	7,597	7,924	8,940	8,512
現金預金	7,375	7,580	7,905	8,917	8,492
その他	15	18	19	23	20
資産の部合計	35,782	35,581	35,443	35,344	35,239
負 債 の 部					
固 定 負 債	1,002	1,037	1,066	1,103	1,070
退職給与引当金	1,002	1,032	1,057	1,097	1,067
その他	0	6	8	6	3
流 動 負 債	1,439	1,326	1,063	924	979
前受金	731	697	658	609	577
その他	708	629	405	315	401
負債の部合計	2,440	2,363	2,129	2,027	2,049
純 資 産 の 部					
基 本 金	35,875	36,030	36,233	36,366	36,606
第1号基本金	34,543	34,624	34,755	34,870	35,274
第2号基本金	0	73	146	164	0
第3号基本金	1,025	1,025	1,025	1,025	1,025
第4号基本金	307	307	307	307	307
繰越収支差額	△ 2,534	△ 2,812	△ 2,919	△ 3,049	△ 3,416
純資産の部合計	33,341	33,218	33,315	33,317	33,190
負債の部・純資産の部合計	35,782	35,581	35,443	35,344	35,239

〈主な財務比率（経年比較）〉

比率	（算式）	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
運用資産余裕比率	（運用資産-外部負債） /事業活動支出	279.3%	268.1%	289.6%	287.1%	288.3%
流動比率	流動資産/流動負債	513.7%	573.1%	745.4%	967.6%	869.6%
総負債比率	総負債/総資産	6.8%	6.6%	6.0%	5.7%	5.8%
前受金保有比率	現金預金/前受金	1008.9%	1088.2%	1202.0%	1463.8%	1470.9%
基本金比率	基本金/基本金要組入額	99.7%	99.9%	100.0%	100.0%	100.0%
積立率	運用資産/要積立額	93.0%	91.2%	89.3%	88.0%	86.4%

②〈資金収支計算書〉

(単位：百万円) 百万円未満は四捨五入

収入の部	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
学生生徒等納付金収入	3,819	3,939	3,997	3,917	3,802
手数料収入	79	70	56	48	45
寄付金収入	83	111	57	131	94
補助金収入	316	474	508	582	572
資産売却収入	0	34	0	0	0
付随事業・収益事業収入	74	61	73	78	81
受取利息・配当金収入	29	31	33	31	25
雑収入	60	35	44	54	57
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	731	696	658	609	577
その他の収入	3,450	2,200	4,708	8,627	2,660
資金収入調整勘定	△ 695	△ 740	△ 706	△ 676	△ 623
前年度繰越支払資金	6,359	7,375	7,579	7,905	8,917
収入の部合計	14,305	14,287	17,007	21,306	16,207
支出の部	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
人件費支出	2,118	2,160	2,082	2,102	2,195
教育研究経費支出	1,405	1,622	1,518	1,646	1,559
管理経費支出	418	463	430	455	497
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	110	55	111	98	257
設備関係支出	139	50	45	27	145
資産運用支出	1,353	854	3,480	6,865	2,124
その他の支出	1,625	1,716	1,540	1,313	1,158
資金支出調整勘定	△ 238	△ 214	△ 105	△ 117	△ 221
翌年度繰越支払資金	7,375	7,579	7,905	8,917	8,492
支出の部合計	14,305	14,287	17,007	21,306	16,207

③ 〈活動区分資金収支計算書〉

(単位：百万円) 百万円未満は四捨五入

科 目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	4,389	4,679	4,735	4,810	4,651
教育活動資金支出計	3,941	4,245	4,031	4,203	4,252
差引	448	434	704	607	399
調整勘定等	132	△ 79	△ 123	△ 44	77
教育活動資金収支差額	580	354	581	563	476
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	42	12	0	0	164
施設整備等活動資金支出計	250	179	229	144	402
差引	△ 208	△ 167	△ 229	△ 144	△ 238
調整勘定等	△ 122	19	△ 13	4	△ 1
施設整備等活動資金収支差額	△ 330	△ 147	△ 242	△ 140	△ 238
小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）	250	207	339	423	238
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	3,474	2,260	4,732	8,648	2,504
その他の活動資金支出計	2,709	2,261	4,747	8,060	3,167
差引	766	△ 1	△ 15	587	△ 664
調整勘定等	1	△ 1	1	2	1
その他の活動資金収支差額	766	△ 2	△ 14	589	△ 662
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）	1,016	204	325	1,012	△ 424
前年度繰越支払資金	6,359	7,375	7,579	7,905	8,917
翌年度繰越支払資金	7,375	7,579	7,905	8,917	8,492

〈主な財務比率（経年比較）〉

比率	(算式)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額 /教育活動資金収入計	13.2%	7.6%	12.3%	11.7%	10.2%

④ 〈事業活動収支計算書〉

(単位：百万円) 百万円未満は四捨五入

教育活動収支		収入の部	科 目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
			学生生徒等納付金	3,819	3,939	3,997	3,917	3,802
			手数料	79	70	56	48	45
			寄付金	44	106	63	132	96
			経常費等補助金	316	474	508	582	572
			付随事業収入	74	61	73	78	81
			雑収入	60	35	44	54	57
			教育活動収入計	4,392	4,686	4,741	4,810	4,653
		支出の部	人件費	2,119	2,190	2,116	2,141	2,165
			教育研究経費	1,985	2,186	2,074	2,191	2,098
管理経費	464		508	477	500	542		
教育活動支出計	4,568		4,884	4,668	4,833	4,805		
教育活動収支差額			△ 176	△ 199	73	△ 23	△ 152	
教育活動外収支	収入の部	科 目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
		受取利息・配当金	29	31	33	31	25	
		教育活動外収入計	29	31	33	31	25	
	教育活動外収支差額			29	31	33	31	25
経常収支差額			△ 147	△ 168	106	8	△ 127	
特別収支		科 目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
		特別収入計	51	66	18	9	14	
		特別支出計	24	22	27	15	15	
	特別収支差額			27	44	△ 9	△ 6	△ 1
基本金組入前当年度収支差額			△ 120	△ 124	97	3	△ 127	
基本金組入額合計			△ 195	△ 154	△ 204	△ 133	△ 240	
当年度収支差額			△ 315	△ 278	△ 107	△ 130	△ 367	
前年度繰越収支差額			△ 2,219	△ 2,534	△ 2,812	△ 2,919	△ 3,049	
基本金取崩額			0	0	0	0	0	
翌年度繰越収支差額			△ 2,534	△ 2,812	△ 2,919	△ 3,049	△ 3,416	
(参考)								
事業活動収入計			4,472	4,782	4,792	4,850	4,693	
事業活動支出計			4,592	4,906	4,695	4,848	4,820	

〈主な財務比率（経年比較）〉

比率	(算式)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
人件費比率	人件費/経常収入	47.9%	46.4%	44.3%	44.2%	46.3%
教育研究経費比率	教育研究経費/経常収入	44.9%	46.3%	43.5%	45.3%	44.8%
管理経費比率	管理経費/経常収入	10.5%	10.8%	10.0%	10.3%	11.6%
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額/事業活動収入	△2.7%	△2.6%	2.0%	0.1%	△2.7%
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金/経常収入	86.4%	83.5%	83.7%	80.9%	81.3%
経常収支差額比率	経常収支差額/経常収入	△3.3%	△3.6%	2.2%	0.2%	△2.7%

(2) その他

① 有価証券の状況

(単位: 円)

種 類	勘定科目	当年度(令和6年3月31日)		
		貸借対照表 計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を 超えるもの	有価証券	700,000,000	701,330,000	1,330,000
(うち満期保有目的の債券)		700,000,000	701,330,000	1,330,000
時価が貸借対照表計上額を 超えないもの	有価証券	700,000,000	680,640,000	△ 19,360,000
(うち満期保有目的の債券)		700,000,000	680,640,000	△ 19,360,000
合 計		1,400,000,000	1,381,970,000	△ 18,030,000
(うち満期保有目的の債券)		1,400,000,000	1,381,970,000	△ 18,030,000

(注) 前掲有価証券の時価情報には次の債券が含まれている。

(単位: 円)

種 類		当年度(令和6年3月31日)		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額
株価指数リンクユーロ円建債	時価が貸借対照表計上額を 超えるもの	700,000,000	701,330,000	1,330,000
株価指数リンクユーロ円建債	時価が貸借対照表計上額を 超えないもの	600,000,000	587,700,000	△ 12,300,000
円貨建て仕組債	時価が貸借対照表計上額を 超えないもの	100,000,000	92,940,000	△ 7,060,000

当法人において運用する金融商品は、満期保有目的である。これらの債券は満期償還時に、基本的には元本が確保されており、運用期間中の時価が貸借対照表計上額を下回っていても、その差損が実現する可能性は極めて低い。

(単位: 円)

種 類	勘定科目	当年度(令和6年3月31日)		
		貸借対照表 計上額	時 価	差 額
債 券	有価証券	1,400,000,000	1,381,970,000	△ 18,030,000
株 式	—	—	—	—
投資信託	—	—	—	—
貸付信託	—	—	—	—
合 計	有価証券	1,400,000,000	1,381,970,000	△ 18,030,000

② 借入金の状況

該当ありません。

③ 学校債の状況

該当ありません。

④ 寄付金の状況

特別寄付金 93,908,000 円
 現物寄付 2,092,987 円
 施設設備に係る現物寄付 14,131,957 円

⑤ 補助金の状況

国庫補助金 570,582,700 円
 地方公共団体補助金 1,342,146 円

⑥収益事業の状況

該当ありません。

⑦関連当事者等との取引の状況

ア) 関連当事者

(単位:円)

属性	役員、法人等の 名称	住所	資本金又は 出資金	事業内容 又は職業	議決権等の 所有割合	関係内容		取引の 内容	取引金額	勘定科目	期末 残高
						役員の 兼任等	事業上の 関係				
監事	田中久雄	—	—	弁護士	—	—	—	弁護士 報酬	2,695,000	支払 報酬	—

(注) 田中久雄氏が代表を務める多聞法律事務所と顧問弁護士契約を締結しており、年間の取引金額を記載している。

イ) 出資会社

当学校法人の出資割合が総出資額の2分の1以上である会社の状況は、次のとおりである。

1. 名称及び事業内容 流科サービス株式会社

コンビニエンスストア経営・自動販売機の管理・学校運営にかかる業務の受託(システムの保守等) その他左記に付帯する一切の業務

2. 資本金の額 10,000,000 円 (1,000 株)

3. 学校法人の出資金額等及び当該会社の総株式等に占める割合並びに当該株式の取得日

平成10年	5月21日	5,000,000 円	100株
平成13年	4月26日	21,825,000 円	450株
平成13年	11月30日	△ 2,280,261 円	△51株
平成14年	3月31日	△ 207,162 円	評価損
平成15年	3月31日	△ 15,655,476 円	評価損
平成16年	3月31日	△ 915,166 円	評価損
平成16年	9月30日	7,798,000 円	501株
令和3年	3月31日	△ 5,564,935 円	減資
合 計		10,000,000 円	1,000株 100%

4. 当期中の学校法人与当該会社との取引等の額

(単位:円)

当該会社からの受入額	業務委託費	1,200,000	寄付金	3,000,000
	業務委託費	36,921,910	消耗品等 購入額	443,394
	手数料	12,158,733	教育研究用機器 備品・什器備品費	648,010
	会議費	3,205,597		
当該会社への支払額				

(注) 流科サービス株式会社の賃貸料、光熱水費は免除している。

	期首残高	資金支出等	資金収入等	期末残高
当該会社への出資金等	10,000,000	0	0	10,000,000
当該会社への未払金	236,957	236,957	883,397	883,397
当該会社からの未収入金	0	0	0	0

5. 当該会社の債務に係る保証債務

該当ありません。

⑧学校法人間財務取引

該当ありません。

(3)経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

〈概況〉

2023 年度の事業活動収支は、経費面では必要経費の選択と集中に努め、計画範囲内で実行しました。

投資面では物価上昇の影響を受ける中、第2号基本金案件であるRYUKAHALLのLED更新、野球場人工芝の張替等を実施しました。その結果、当年度収支差額は約1億3千万円の支出超過となっております。なお、中期財務計画に定めた財務比率目標との比較は以下のとおりです。

- ・人件費比率 46.3%(目標 44.0%)
- ・教育研究経費比率 44.8%(目標 43.0%)
- ・管理経費比率 11.6%(目標 10.0%)
- ・経常収支差額比率 △2.7%(目標 0%)

〈成果〉

- ・教育研究経費の精査等により、教育活動支出は昨年比約3千万円減少しています。

〈課題〉

- ・経常収支が約1億3千万円の支出超過となっており、収支均衡を永続的に継続するためには更なる経費コントロール等が必要です。

〈今後の方針・対応方策〉

中内学園中長期計画(N-PLAN)に定めた中期財務計画に基づき、今後の18歳人口減少及び物価高等、より一層厳しさを増す外部環境を十分に考慮し、更なる経費コントロールおよび収入増の施策を検討・実行し、収支均衡を保った上で各種事業を進めてまいります。